KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

SL-3MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-5350-00 00 (MA) (J) KW 0212

はじめに

本機の特長

デジタルサウンドイコライザー機能

本機にはDSPでデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
これまでの単なる音質調整と比べ、楽しみながら、より自分の好みに音を調整することができます。

CD-R／CD-RW 再生対応

音楽CDの再生はもちろん、CD-R(Compact Disc Recordable)(追記型)、CD-RW(Compact Disc Rewritable)(書き換え型）に録音された曲の再生ができます。
*ファイナライズされたディスクのみ再生可能です。ただし、ディスクによっては再生できない場合があります。

MD ロングプレイモード対応

ATRAC 3（MDLP）による長時間録音、再生機能（LP2、LP4）を搭載。標準の2倍(約160分*）または4倍（約320分*）のデジタル長時間録音、再生ができます。（* 80分ディスクを使用した場合）

CD → MD High Speed ダビング対応　（4倍速）

CDからMDへカンタン、4倍速でダビングできる便利な機能です。（全曲、1曲）

グループ機能

多数の曲を何曲かずつのグループに分けて管理できる便利なMDグループ機能を搭載しています。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

- **ワンタッチ録音：** キーを押すだけで、CD 1枚または1曲をカンタンに録音できます。
- **TWIN REC 機能：** CD から MD とテープへ同時録音が出来ます。
- **プログラム録音：** 好きな曲を好きな曲順で録音できます。

便利なタイマー機能

- **タイマー再生、タイマー録音機能：**
  タイマー再生（AIタイマー再生）とタイマー録音を2系統（**PROG. 1**, **PROG. 2**）設定ができます。
  （AIタイマーは、タイマー再生開始後、設定したレベルまで徐々に音量が上がります。）
- **スリープタイマー機能：**
  設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。

付属品

AMループアンテナ（1個）	FM室内アンテナ（1本）	リモコン（1個）	リモコン用単3乾電池（2本）

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全編

準備編

基本編

応用編

知識編

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

警告

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

きれいにしましょう

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

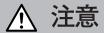
機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

注意

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災·感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災·感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災·感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

注意

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

接続のしかた

システムと付属品の接続

本機と、付属品の接続方法です。

注意　接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

注意

スピーカーの磁気でテレビやパソコンのモニターの色が乱れることがあります。スピーカーはテレビやモニターの近くには置かないでください。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

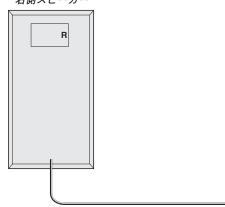
デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

"DEMO OFF"（デモンストレーション解除）：
デモンストレーション中に set/demo キーを押す

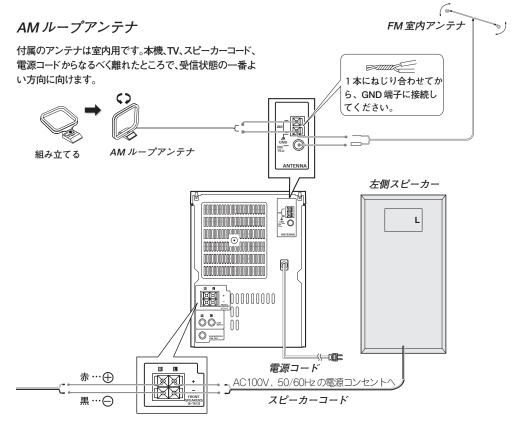
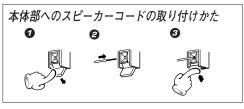
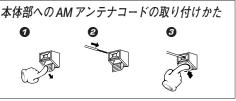
"DEMO ON"（デモンストレーション実行）：
電源がオンの時に set/demo キーを押す（2秒以上）

- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーションがオンになります。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

スピーカー接続

スピーカーは、左右の指定があります。図のように接続してください。

- スピーカーコードの＋と−は絶対にショートさせないでください。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、" 故障かな？と思ったら ..." を参照してマイコンをリセットしてください。→89

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

1. アンテナ端子に接続する。
2. 受信状態のよい位置をさがす。
3. 固定する。

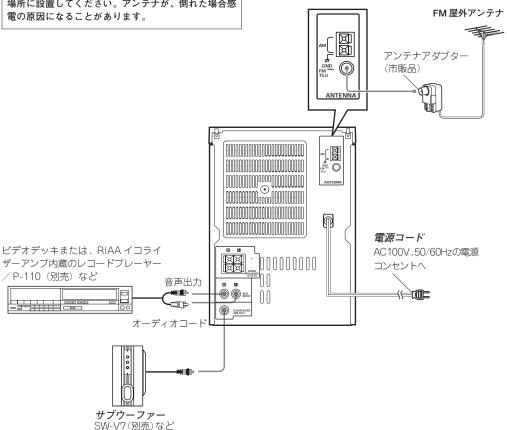
AM ループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

本体部へのスピーカーコードの取り付けかた

本体部への AM アンテナコードの取り付けかた

他の機器（市販品）との接続

注意　接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

注意　屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

FM 屋外アンテナ

アンテナアダプター（市販品）

AM
GND
FM 75Ω
ANTENNA

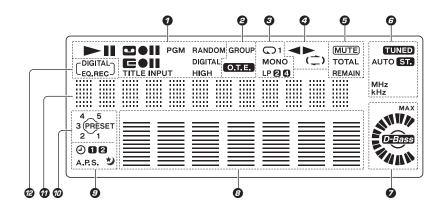
電源コード
AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ

ビデオデッキまたは、RIAA イコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー／P-110（別売）など

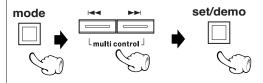
音声出力

オーディオコード

FRONT SPEAKERS (6-16Ω)
AUX INPUT
SUB WOOFER PRE OUT

サブウーファー
SW-V7（別売）など

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

表示部

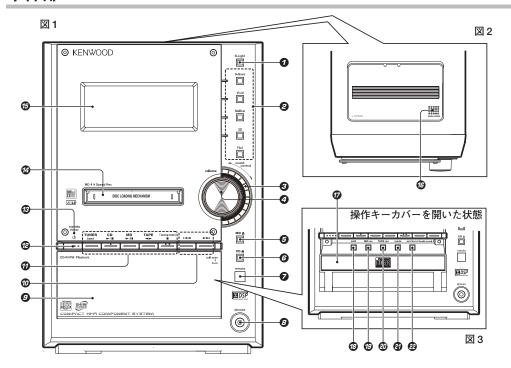
本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。

❶ CD、MD、テープ 関連表示
❷ GROUP表示／
O.T.E.（One Touch Edit）表示
❸ リピート表示（CD、MD）／MONO表示／
MDLP表示
❹ テープ関連表示
❺ MUTE表示／TOTAL表示／REMAIN表示
❻ チューナー関連表示
❼ D-Bass表示およびレベルメータ
❽ グライコおよびスペアナ表示
❾ タイマー関連表示
❿ サウンド・プリセット表示
⓫ 数字および文字情報表示
⓬ デジタルサウンドイコライザー録音表示

AUTO POWER SAVE 機能について

電源がオンで、CD、MD、TAPE のすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。
電源を切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作で、オン／オフを選べます。

❶ "A.P.S. SET ?" を選ぶ

（"?" マークが点滅中に set/demo キーを押す）

❷ "A.P.S. ON ?" または、"A.P.S. OFF ?" を選択する

❸ 確定する

- 入力切換が TUNER、AUX のときは、音量がゼロまたは MUTE がオンのときに限り働きます。

本体部

❶ B.Light キー →80
バックライトの明るさを変えます。

❷ デジタルサウンドイコライザーキー →19
D-Bass キー
Vivid キー
Mellow キー
3D キー
これら 4 種類の基本サウンドをもとに、好みの音を作り出すことができます。
Flat キー
デジタルサウンドイコライザー機能をOFFにします。

❸ サウンドコントロールジョグ →19
Vivid、Mellow、3D の音の特性を調節します。D-Bass のレベル調整をします。

❹ volume（ボリューム）つまみ →18
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

❺ MD ▲ 取り出しキー →26
MD を取り出すときに使います。

❻ CD ▲ 開閉キー →22
CD トレイを開閉します。

❼ リモコン受光部 →17
リモコンからの信号を受信します。

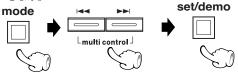
❽ ヘッドホン端子 →19
ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

❾ 操作キーカバー
カバー内のキーを操作する場合、カチッとロックされる位置まで開けてください。
操作後は元の状態に戻します。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。
スタンバイ状態のとき、⓫ 内の各操作キーまたは AUX キーを押すと、すぐに再生（受信）します。

⑩ multi control (|◀◀/▶▶|)キー

通常は以下のときに使います。

- CDやMDの曲の飛び越し →23 →26
- テープの早送り、巻戻し →29
- プリセット放送局を選ぶ →30

modeキーを押してメニューモードにし、好みの項目を選ぶときに使います。set/demoキーを使って確定します。

- キーを押すと以下のように表示が切り換わります。

"TAPE　RVS. ?" →29
"O.T.E.　MODE?" →49
"O.T.E.　SPEED?" →45
"MD　REC　INPUT" →35 →77
"MD　REC　MODE?" →35 →76
"GROUP　MAKE " →76
" ケンメイセッテイ?" →31
（入力切換がチューナーのときのみ）
"AUX　INPUT ?" →79
（入力切換が外部入力のときのみ）
"TIMER　SET ?" →82
"A.P.S.　SET ?" →13
"TIME　ADJUST?" →80
"SOUND　PRESET" →20
"S.A.PATTERN?" →20

- 20秒以上操作しないと multi control |◀◀ または ▶▶| キーは通常モードに戻ります。

⑪ 基本操作キー

TUNER band キー →30

入力をチューナーに切り換えます。
放送バンドを切り換えます。

CD ▶/❚❚ キー →22

入力をCDプレーヤーに切り換え、再生を開始します。CD再生中に押すと一時停止をします。

MD ▶/❚❚ キー →25

入力をMDレコーダーに切り換え、再生を開始します。MD再生中に押すと一時停止をします。MD録音中に押すと録音を一時停止します。

TAPE ◀ ▶ キー →28

入力をカセットデッキに切り換え、テープを再生します。再生中に押すとテープの走行方向を切り換えます。

[tuning mode] ■ (STOP)キー

CD、MD、TAPE： →23 →26 →29

ディスクやテープの操作を停止するときに使います。

チューナーのとき： →33

AUTO（オート選局、ステレオ受信）とMONO（マニュアル選局、モノラル受信）の切り換えを行います。

スタンバイ状態のとき： →80

表示部に時計を表示します。

⑫ ⏻ (POWER)キー →18

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

⑬ standby/timer 表示

赤色の点灯：通常のスタンバイ状態
緑色の点灯：タイマースタンバイ状態
消灯　：電源オンの状態
点滅の場合は"***故障かな？と思ったら…***"をご覧ください →89

⑭ MD 挿入口

⑮ ディスプレイ表示

⑯ カセットホルダー →28

テープを出し入れするときは、**PUSH OPEN** 表示部分を押して開け閉めします。

⑰ CD トレイ

⑱ AUX キー →79

AUX（アナログ外部入力端子）に接続した入力ソースを聴くときに使います。

⑲ MD rec キー →36

MDに録音をするときに使います。

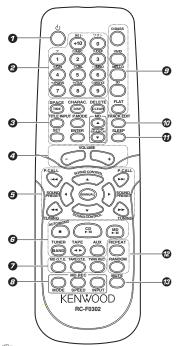
⑳ TAPE rec キー →39

テープの録音を始めます。録音中に押すと、4秒間の無録音部を作ってから、録音一時停止状態になります。

㉑ mode キー

multi control|◀◀ または ▶▶| キーの機能をメニュー選択モードへ切り換えます。もう一度押すと、multi control|◀◀ または ▶▶| キーの機能が通常モードへ戻ります。

㉒ set/demo キー

multi control|◀◀ または ▶▶| キーで選んだ項目を確定または入力します。
デモンストレーションのオン／オフ。 →10

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーター(赤)が点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

❶ ⏻（POWER）キー →18

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❷ 文字／数字キー

CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNERのプリセットコールキーとして使います。 →23 →26 →33

MDのタイトル入力のとき、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。 →61

❸ SPACE／TIME キー →24 →27

CDやMDなどの時間表示を切り換えるときに使います。

MDのタイトル入力のとき、スペースを入力します。

CHARAC.／DISP. キー →24 →27

CD-TEXT 対応の**CD**ディスクや**MD**を操作中に押すと、ディスクのタイトルや曲のタイトルをスクロールします。

MDのタイトル入力操作中に押して、目的の文字グループを選ぶときに使います。

DELETE／CLEAR キー（CD、MD）

プログラムした曲を取り消します。

MDのタイトル入力のとき、1文字を削除します。

プリセットした放送局を消去するときに使います。→33

TITLE INPUT キー →60

MDにタイトル入力をするときに使います。

P.MODE キー（CD、MD） →40 →73

トラックモードやグループモードまたはプログラムモードに切り換えるときに使います。

SET キー →54

MDの編集処理の設定などに使います。

ENTER キー →21 →33 →55 →62

MDの編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。

チューナーのプリセットメモリーの確定に使います。

2秒間押し続けると**SOUND PRESET**モードになります。

MD GROUP SEARCH (▲/▼)キー →73

MDグループサーチモードにするときに使います。

❹ VOLUME キー →18

音量を調節するときに使います。

❺ SOUND PRESET (◀/▶) キー →20

プリセットされたサウンドを呼び出したり、調整したいイコライザーの周波数をえらびます。

SOUND CONTROL (▲/▼) キー →20

サウンドコントロールのレベルを調節したり、希望するイコライザーの周波数でのレベルを選びます。

MANUAL キー →20

マニュアルモードのオン、オフを切り替えます。

P.CALL (▶▶| / |◀◀) キー

CD、MDのとき： →23 →26

スキップ(曲の飛び越し)に使います。

MDの編集にも使用します。

TAPEのとき：早送り、巻戻しに使います。 →29

チューナーのとき： →30

記憶させた放送局を受信するときに使います。

TUNING (▶▶ / ◀◀) キー

CD、MDの、TAPEのとき： →23 →26 →29

早送り、巻戻しに使います。

MDのタイトル入力のときカーソルの移動に使います。

チューナーのとき： →33

放送局の選択に使います。

❻ 基本操作キー

（CD、MD共用のキーは、入力切り換えに応じて動作します）

AUTO/MONO ■ (STOP)キー

CD ▶/II キー →22 / **MD ▶/II キー** →25

TUNER/ BAND キー →30

TAPE ◀ ▶ キー →28 / **AUX キー** →79

❼ MD O.T.E. キー →47

CD をワンタッチで MD に録音できます。
CD の再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CD の全曲を MD に録音します。

TAPE O.T.E. キー →47

CD をワンタッチでテープに録音できます。
CD の再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CDの全曲をテープに録音します。

TWIN REC キー →49

CD をワンタッチで MD とテープに録音できます。
CD の再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CD の全曲を MD とテープに録音します。

❽ MD REC

MODE キー →35

MD への録音モードを選択します。ステレオ、LP2、LP4、モノラルの中から選ぶことができます。

SPEED キー →45

MD O.T.E. キーでCD から MD に録音するときの録音速度を通常の速度と 4 倍速から選択できます。

INPUT キー →35

CDからMDに録音するときの状態をデジタル、アナログ、デジタルサウンドイコライザーの中から選択できます。

❾ デジタルサウンドイコライザーキー →19

４種類のデジタルサウンドイコライザーモードまたはフラットを選ぶことができます。

D-BASS キー →19
VIVID キー →19
MELLOW キー →19
3D キー →19
FLAT キー →19

❿ TRACK EDIT キー →54

MDの曲を編集するとき曲の移動や消去などに使います。

⓫ SLEEP キー →81

おやすみタイマーを設定するときに使います。

⓬ REPEAT キー（CD、MD） →42

繰り返し再生するときに使います。

RANDOM キー（CD、MD） →43

曲順を順不同に再生します。

⓭ MUTE キー →19

一時的に音を消したいときに使います。

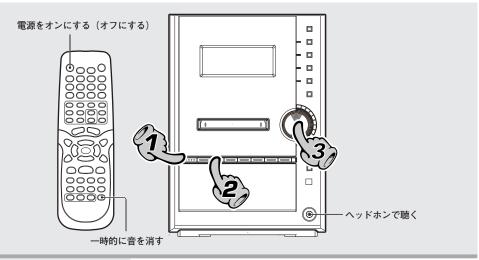
電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単３乾電池２個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⏻(POWER)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

リモコン受光部
約 6 m
30°　30°

● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
● 操作できる距離が短くなったら、２個とも新しい電池と交換してください。
● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

基本的な使いかた

1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときに⏻(POWER)キーを押すとオフ（スタンバイ）になります

- **TUNER band**、**CD ▶/II**、**MD ▶/II**、**TAPE ◀ ▶** キーまたは、**AUX** キーを押しても、電源がオンになり、再生（受信）します。(ワンタッチオペレーション機能)
- CD、MD、TAPE を選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

例：CDを選ぶ時

2. 聴きたいものを選ぶ

CD →22

MD →25

TAPE →28

TUNER（ラジオ） →30

AUX（外部入力） [インプットレベルを調整する →79]

- **TUNER band**、**CD ▶/II**、**MD ▶/II**、**TAPE ◀ ▶** キーまたは、**AUX** キーを押すと、その入力に切り換わります。

CD を選んだとき

3. 音量を調節する

- 表示部に目安の数字が表示されます。

音量の表示

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

デジタルサウンドイコライザー機能を使う

本機には DSP でデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
これまでの単なる音質調整と比べ、楽しみながら、より自分の好みに音を調整することができます。

好みの音質を作る
（プリセットされたサウンドより）

❶ 好みのサウンドを選ぶ

D-Bass :

音量にかかわらず低音域を補正します。

- **"D-BASS　10"** のように表示され **D-Bass** の LED が点灯します。

Vivid :

明るくはじけるような音を楽しめます。

- **"VIVID 3"** のように表示され、**VIVID** の LED が点灯します。
- **D-Bass** と **3D** の設定を重ねることもできます。

Mellow :

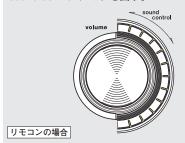
ゆったりとくつろげる音を楽しめます。

- **"MELLOW 3"** のように表示され **MELLOW** の LED が点灯します。
- **D-Bass** と **3D** の設定を重ねることもできます。

3D :

３次元のサウンド空間を作り出すシステムです。
深みと幅のある音域の感覚が強調され、音のステージ幅が広がります。

- **"3D　3"** のように表示され **3D** の LED が点灯します。

Flat :

上記各モードの設定をフラットにします。
もういちど押すと元の設定に戻ります。

- 各モードとも、３秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

❷ 好みのサウンドのレベルを選ぶ

本体の場合

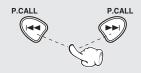
sound control ジョグを回す。

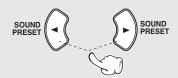
リモコンの場合

SOUND CONTROL ▲ または ▼ キーを押す。

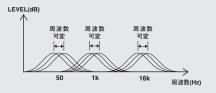
- 各モードとも、0 から 20 までの範囲でレベルを調整できます。（**D-Bass** と **3D** は 10 まで）
- 各モードとも、３秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

好みの音質を作る（マニュアル設定）

本格的な7バンドのイコライザーを搭載していますので、重低音域から超高音域まで（21 ページ参照）ある周波数を中心とした音域のカーブが、自由に作れます。

リモコンのみ

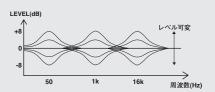
❶ MANUAL（マニュアル） キーを押す。

- **"MANUAL"** と表示され左端のイコライザーが点滅します。

❷ 設定したいイコライザーのバンドを選ぶ

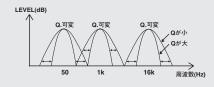
P.CALL（コール） **⏮** または **⏭** キーで設定したいイコライザーのバンドを選びます。

- 選ばれたバンドのイコライザーが点滅します。
- イコライザーのバンドは 7 種類あります。

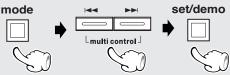
❸ 設定したいイコライザーの周波数を選ぶ

SOUND PRESET（サウンド プリセット） **◀** または **▶** キーで設定したいイコライザーの周波数を選びます。

- **"freq. : 800Hz"** のように表示されます。
- それぞれのバンドごとに 5 種類の周波数から選ぶことができます。
- 周波数可変のイメージ

❹ 設定したいイコライザーのレベルを設定する

SOUND CONTROL（サウンド コントロール） **▲** または **▼** キーで設定したいイコライザーのレベルを調節します。

- LEVEL : -8dB から +8dB まで 1dB ステップで調整できます。
- もう一度 **MANUAL**（マニュアル） キーを押すか、20 秒以上キーの操作がないと、マニュアル設定モードを解除します。
- **レベル可変**のイメージ

❺ 設定したいイコライザーの Q（音域カーブの傾斜）を設定する

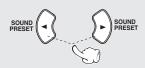
TUNING（チューニング） **◀◀** または **▶▶** キーで設定したいイコライザーの **Q** を選びます。

- **Q** の大小による周波数特性の違い
- **Q 可変**のイメージ

周波数、レベル、Q が各々選べるので Q を大きくして特定の周波数（楽器）を強調したり、逆に Q を小さくして特定の周波数にピークを持たないカーブにしたりできます。手順 ❷ から ❺ を繰り返して、お客様の好みに合わせて調整してみてください。

作り出した音を記憶させる

❶ mode キーを押し multi control ⏮ または ⏭ キーで "SOUND PRESET" を選び set/demo キーを押す。

- サウンドプリセット表示部の **1、2、3、4、5** が点滅します。
- 数字および文字情報表示部には **"PRESET 12345"** と表示されます。
- 音のパターンはサウンドの種類によらず全部で 1 から 5 までの 5 個がプリセットできます。

❷ P.CALL ⏮ または ⏭ キーで記憶させたいメモリーを 1 から 5 のうちから選び SET キーを押す。

- プリセット表示部に選択されたメモリーの番号が点灯します。
- リモコンの ENTER キーを 2 秒間押し続けると ❶ をせずに ❷ に進むことができます。

記憶させた音のパターンを呼び出す

リモコンのみ

SOUND PRESET ◀ または ▶ キーを押す。

- **"S. PRESET 1"** のように表示されます。
- 出荷時の設定はフラットなカーブとなっています。
- 3 秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

スペクトラムアナライザの表示パターンを設定する

❶ mode キーを押し multi control ⏮ または ⏭ キーで "S.A. PATTERN" を選び set/demo キーを押す。

❷ multi control ⏮ または ⏭ キーで "S.A. PATTERN 1"、"S.A. PATTERN 2" か "OFF" うち、好みの表示パターンを選び set/demo キーを押す。

音質調整について

重低音域の調整
(バンド 1：31.5Hz, 40Hz, 50Hz, 63Hz, 80Hz)

これらのレベルコントロールを上昇させると、ベースのように低音域の楽器がどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときには、適当と思われるところまで下降させます。

低音域の調整
(バンド 2：125Hz, 140Hz, 160Hz, 180Hz, 200Hz)

日本の建築様式では、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、ブーミーな感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

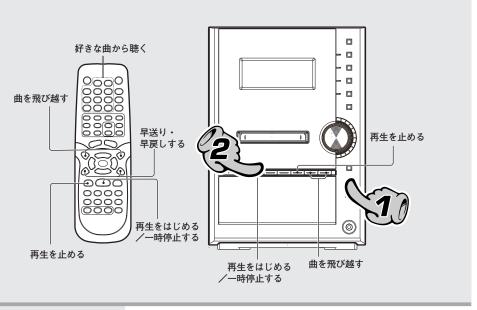
中低音域の調整
(バンド 3：315Hz, 350Hz, 400Hz, 450Hz, 500Hz)

音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられるところです。もの足りない音だと思われるときには、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。

中音域の調整
(バンド 4：800Hz, 890Hz, 1kHz, 1.1kHz, 1.25kHz)

この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

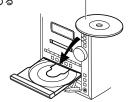
中高音域の調整
(バンド 5：2kHz, 2.2kHz, 2.5kHz, 2.8kHz, 3.15kHz)

この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところです。うまく調整すれば、爽快さや明るさがでてきますが、反面うるさい感じになることもあります。

高音域の調整
(バンド 6：5kHz, 5.6kHz, 6.3kHz, 7.1kHz, 8kHz)

この周波数帯域は、硬い感じとか、柔らかい感じといわれるところです。上昇させると弦楽器(バイオリンなど)や、管楽器(フルート、ピッコロなど)が強調され、艶のある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

超高音域の調整
(バンド 7：12.5kHz, 14kHz, 16kHz, 18kHz, 20kHz)

この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器(トライアングル、シンバルなど)が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

CD を聴く

CD プレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ►/❚❚ キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

1. ディスクを入れる

❶ CD ⏏ キーを押してCDトレイを開ける
❷ ディスクを入れる
❸ CD ⏏ キーを押してCDトレイを閉める

- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクをずらして置くと故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

CD
►/❚❚

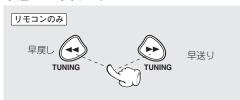
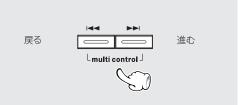
- 数秒後に 1 曲目から再生します。
- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

再生をはじめる／一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は
23曲目なら............ +10×2回、3
40曲目なら............ +10×4回、0

早送り・早戻しする

リモコンのみ

- 再生中に押しつづけます。手を離したところから再生します。

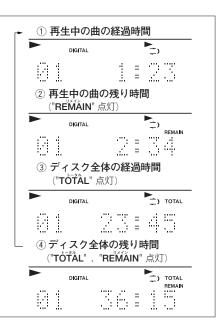
曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中にmulti control（マルチ コントロール）⏮キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早くmulti control（マルチ コントロール）⏮キー を押します。
- 停止中でもmulti control（マルチ コントロール）⏮または⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。
- リモコンではP.CALL（コール）⏮または⏭キーを押します。

CDを取り出す

本体のみ

- CDトレイが開きます。（もう一度押すと閉まります）

⚠ **注意** レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

CD プレーヤーの時間表示について

SPACE / TIMEキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

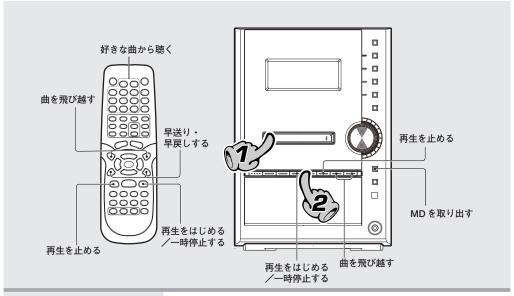
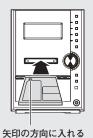
リモコンのみ

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "**− −：− −**" と表示されます。

CD-TEXT 対応ディスクのタイトル表示について

本機では、CD-TEXT 対応のディスクを再生すると、CD に収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。
また、リモコンの CHARAC./DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。
（停止中、再生中に操作します。）

リモコンのみ

① 曲の経過時間を表示

② タイトルを表示

- **CD-TEXT** 対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が1000文字を超えると "**TEXT FULL**" と表示されます。

- 再生できる **CD** については、「本機で使用できるディスクについて」（86ページ）をご覧下さい。
- 本機ではファイナライズされていない **CD-R/RW** は再生できません。
- 本機では、**CD-R/RW** のデータ信号など、音楽データ以外のデータは再生できません。
- 録音機器の録音特性（ピックアップなど）、使用する **CD-R/RW** ディスクの特性や録音状況などによっては、本機で **CD-R/RW** を再生できないことがあります。

MDを聴く

MDレコーダーにあらかじめMDを入れておくと、MD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。MDの曲は、録音したときの録音モード（例：MDLP/ステレオ2倍長時間録音（LP2）など）に従って再生されます。

1. MDを入れる

矢印の方向に入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください

- MDにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

ディスクタイトル

スタンバイ状態時は、MDの出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

- 数秒後に1曲目から再生します。
- トラックタイトルが記録されているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。

トラックタイトル

再生をはじめる／一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は

23 曲目なら .... +10 ×２回、3
40 曲目なら .... +10 ×４回、0
102 曲目なら .... +10 ×10 回、2

● MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
● "READING"（リーディング）の点滅中にディスクにないトラックナンバーを選ぶと、そのディスクに収録されている最後の曲を再生します。

MDLP について

MDLP は MD 規格に適合した新しい音声圧縮方式 ATRAC3 を採用して、ステレオ２倍（または４倍）の長時間録音、再生モードの機能を持った MD レコーダーや MDプレーヤーまたは、ATRAC3 により音声録音されているMD メディア（再生専用 MD）に表示されています。

早送り・早戻しする

● 再生中に押しつづけます。手を離したところから再生します。

曲を飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
● 再生中に multi control（マルチ コントロール）|◄◄ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
● さらに手前の曲にスキップするときは素早く multi control（マルチ コントロール）|◄◄ キー を押します。
● 停止中でも multi control（マルチ コントロール）|◄◄ または ►►| キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。
● リモコンでは P.CALL（コール）|◄◄ または ►►| キーを押します。

MD を取り出す

本体のみ

MD⏏

● MD を取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

MD レコーダーの時間表示について

SPACE / TIMEキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

● 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①、②のみ表示します。
● 時間表示の合計が 1000 分以上になると "– – : – –" と表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

DIGITAL
001 1:23

② 再生中の曲の残り時間
("REMAIN" 点灯)

DIGITAL REMAIN
001 2:34

③ 録音された曲全体の経過時間
("TOTAL" 点灯)

DIGITAL TOTAL
001 23:45

④ 録音された曲全体の残り時間
("TOTAL" 、"REMAIN" 点灯)

DIGITAL TOTAL REMAIN
001 36:15

⑤ MD の録音可能残り時間

DIGITAL
001 R37:45

MD レコーダーのタイトル表示について

リモコンの CHARAC./DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

(停止中に操作すると。)

① タイトルを表示

(再生中に操作すると。)

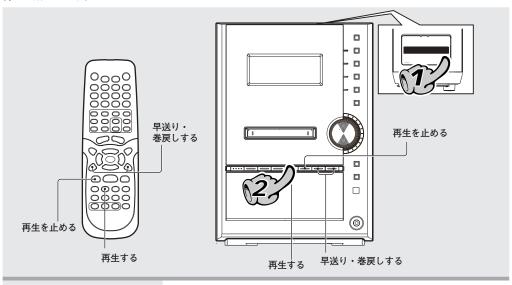
① 曲の経過時間を表示

② タイトルを表示

リモコンのみ

(CD から MD へ録音中に操作すると。)

① MD の録音可能残り時間を表示

② 再生中の曲のタイトル表示
(CD-TEXT 対応ディスクの場合は、タイトルを表示します)

③ 曲の経過時間を表示

● 曲名(トラックタイトル)ならびに MD 名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"NO TITLE" が表示されます。
● 1 曲も録音されていない場合、"BLANK DISC" と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)

テープを聴く

カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPE ◄ ► キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

1. カセットテープを入れる

❶ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをあける
❷ テープを入れる
❸ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをしめる

> **90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。**

- 本機は、ノーマル（TYPE I）のカセットテープが再生可能です。
- テープがたるんでいる場合は、たるみをとってからカセットデッキに入れてください。 →87

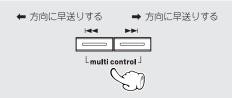
2. 再生する

TAPE ◄ ► キーを押す

押すたびにテープの走行方向が切り換わります

"►"：表面を再生します

"◄"：裏面を再生します

走行方向について：

再生や録音をしているときの、テープの走行方向を、◄ または ► の点灯で表示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

早送り・巻戻しする

- 早送りを止めるときは、[tuning mode]■(STOP)キーを押してください。
- リモコンのTUNING ◀◀ または ▶▶ キーでも操作できます。

再生を止める

リバースモードを選ぶ

本体のみ

❶ "TAPE RVS. ?" を選ぶ

("?" マークが点滅中に set/demo キーを押す)

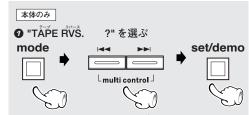
❷ 選択する

① "⊐" : (ONE WAY)
片面のみを再生（録音）して止まります。

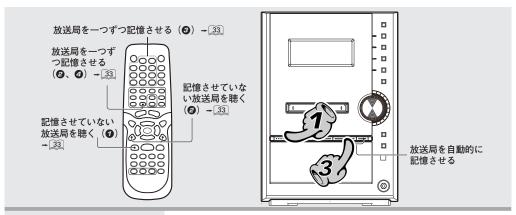
② "⊃" : (REVERSE)
両面を再生(録音)して止まります。ただし、◀のときは、片面のみ再生(録音)して止まります。

③ "⊂⊃" : (ENDLESS)
両面をエンドレス再生する(録音時は両面を録音して止まります。 ただし、◀のときは、片面のみ録音して止まります)。

(初期設定は "⊃"(REVERSE)になっています)

❸ 確定する

set/demo

カセットテープ取り出し時のご注意

- [tuning mode] ■ (STOP) キーを押してテープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。
- 動作中にカセットホルダーを開くと、故障の原因になることがあります。
- 万一、カセットホルダーが閉まらなくなった場合は、電源を入れ直してください。

テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが "0000" と表示されます。テープの途中で録音（再生）を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音（再生）のときに、続きの場所を探すめやすになります。裏面を聴いているとき（走行方向表示が ◀ のとき）はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを "0000" にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。

ラジオ放送を聴く

TUNER band キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

1. 入力をチューナーにする

放送バンドは、TUNER band キーを押すたびに切り換わります

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） →31

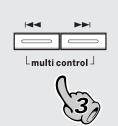
お住まいの都道府県名を設定すると､お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名を（FM 放送のみ）表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと､転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き､次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を 1 局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット） →33

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは "**記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)**" をお読みください。

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、 **multi control** ⏮ または ⏭ を押して選局します。
押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

受信すると "**TUNED**" が点灯

周波数の表示

ステレオ受信時に点灯

⏭ を押すと : 01 → 02 → 03 ..... 28 → 29 → 30 → 01 .....
⏮ を押すと : 30 → 29 → 28 ..... 03 → 02 → 01 → 30 .....

- 押したままにすると、約 0.5 秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンでは、**P. CALL**⏮ または ⏭ キーあるいは数字キーを押して選局します。

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

本体のみ

❶ 入力切換を TUNER（チューナー）にする

❷ " ケンメイ　セッテイ ?" を選ぶ

（"?" マークが点滅中に set/demo（セット／デモ） キーを押す）

❸ お住まいの都道府県名を選ぶ

❹ オートプリセットを始める

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大30局まで登録します。
放送局名表示は " エリア別FM放送局名自動表示リスト " に載っているFM放送局のみに対応しています。 →32

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、" **ケンメイ　ミセッテイ　?**" と表示されます。

" **トウキョウ** " を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、" **エリア別FM放送局名自動表示リスト** " に従ってオートプリセットされます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、"set/demo（セット／デモ）" キーを押してリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。

ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局名が正しく表示されない場合があります。

- "**AUTO PRESET**（オート プリセット）" 表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。→33
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および "**TUNED**（チューンド）" が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。→32
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2002年7月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエムアキタ
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FM GUNMA
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM NIIGATA
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	岐阜FM放送	FMギフ
	新潟県民エフエム	FmPort.com
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	Passion Wave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ1
	AFN オキナワ	AFN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
電波の状態が良いとき ： オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき ： マニュアル選局モード

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える

❷ 選局をする

リモコンのTUNING ◀◀ または ▶▶ キーも使うことができます。

- FM 放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

押すたびに切り換わります。

① **"AUTO":** ステレオ受信（"AUTO" 点灯）
② **"MANUAL":**モノラル受信（"AUTO" 消灯）

- 通常は AUTO（オート選局、ステレオ受信）を選んでください。

オート選局のとき：

multi control |◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

受信するまで繰り返し multi control |◀◀ または ▶▶| キーを押します。あるいは multi control |◀◀ または ▶▶| キーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら離します。

放送局を一つずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

リモコンのみ

❶ "記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中に ENTER キーを押す

（"ーー" 点滅中に、手順 ❸ へ）

" 0ー " 点滅(20 秒間)

❸ 1 ～ 30 までのプリセット番号を選ぶ

本体のmulti control |◀◀ または ▶▶|キーも使うことができます。

- 最大 30 局まで放送局を記憶できます。

- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

❹ もう一度 ENTER キーを押す

（続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順 ❶、❷、❸、❹ を繰り返す）

プリセットした放送局を消すには:

消去したい放送局をリモコンのP.CALL|◀◀ または ▶▶| キー、あるいはリモコンの数字キーを押して、DELETE / CLEAR キーで選択します。SET キーで確定します。

MD に録音する

MD への録音は、すべての録音機能で ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。CD を録音するには " 便利な録音あれこれ " を参照ください。→44

1. 録音の準備をする

❶ MD の誤消去防止つまみを録音可能な状態にする →88
❷ MD を入れる

スタンバイ状態時は、MD の出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理に MD を入れないでください。故障の原因となります。

"MD"以外の入力ソースを選ぶ

例：CDを選ぶ時

2. 何を録音するか選ぶ

CD	：デジタルまたはアナログ録音
TAPE	：アナログ録音のみ
TUNER（ラジオ）	：アナログ録音のみ
AUX（外部入力）	：アナログ録音のみ［インプットレベルを調整する →79］

DIGITAL
CD 01 0:01

表示部に録音する入力ソースが表示されます。

- すでに CD やテープが入っているときは、再生が始まりますので[tuning mode] ■ (STOP)キーを押して止めます。
- CD に記録されてある CD-TEXT の TEXT データは MD に記録されません。

3. ソース（音源）の準備をする

TUNER (ラジオ放送)	：選局する
CD	：録音したい曲（トラック）のはじめで再生一時停止にする
TAPE	：録音をはじめる位置を探してから再生停止にする
AUX (外部入力ソース)	：受信や再生などの準備をする →79

mode

└multi control┘

set/demo

❶❸❻

set/demo

❷❹❺❼

4. 録音モードを設定する

長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。
デジタルサウンドイコライザー録音をするときは、あらかじめ録音したいサウンドを選んだり、周波数のカーブを調整してください。

❶ **mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "MD REC INPUT" を選び set/demo キーを押す。**

❷ **multi control ⏮ または ⏭ キーを押して、録音入力を選び set/demo キーを押す。**

押すたびに切り換わります。

- **"DIGITAL?"** ：CD からのデジタル録音入力
- **"ANALOG?"** ：CD からのアナログ録音入力
- **"EQ. REC?"** ：デジタルサウンドイコライザー録音入力
  →19 〜 →21 で設定したサウンドで録音できます。
  デジタル信号のクリップを防ぐため、多少音量が小さく録音されます。

- **D-Bass** の設定は録音されません。
- 4 倍速録音 →45 →46 では **EQ.REC** はできません。自動的に **EQ.REC** は解除され、**DIGITAL REC** に切り替わります。
- **EQ.REC** を選ぶと、デジタルサウンドイコライザー（14 ページの❷）はすべて禁止となります。**EQ.REC** での録音が終了したら、本手順で **"DIGITAL?"** か **"ANALOG?"** を選び、デジタルサウンドイコライザーキーを有効にしてください。

❸ **mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "MD REC MODE ?" を選び set/demo キーを押す。**

❹ **multi control ⏮ または ⏭ キーを押して、好みの録音モードを選び set/demo キーを押す。**

押すたびに切り換わります。

- **"STEREO"（ステレオ録音）:** MD カートリッジに表示されている時間分録音できます
- **"LP2"（ステレオ 2 倍長時間録音）:** MD カートリッジに表示されている約 2 倍の時間分録音できます（"**LP 2**" 点灯）
- **"LP4"（ステレオ 4 倍長時間録音）:** MD カートリッジに表示されている約 4 倍の時間分録音できます（"**LP 4**" 点灯）
- **"MONO"（モノラル録音）:** MD カートリッジに表示されている 2 倍の時間分のモノラル録音ができます（"**MONO**" 点灯）

- リモコンの **MD REC MODE** キーを押すと ❸、❹ の操作が一度に行えます。
- **"STEREO"** または **"MONO"** を選んだときは ❻ に進む

次ページに続く

❺ multi control |◀◀ または ▶▶| キーを押して "LP : STAMP ON" または "LP : STAMP OFF" を選び set/demo キーを押す

押すたびに切り換わります。

- "LP : STAMP ON":曲タイトルの頭の部分に "LP : " の文字が入る（スタンプ (STAMP) 機能 ➞37）
- "LP : STAMP OFF" :曲タイトルの頭の部分に "LP : " の文字が入らない

❻ mode キーを押してメニューモードにし、multi control |◀◀ または ▶▶| キーを押して "GROUP MAKE ?" を選び set/demo キーを押す。

❼ multi control |◀◀ または ▶▶| キーを押して "GROUP ON" または "GROUP OFF" を選び set/demo キーを押す

押すたびに切り換わります。

- "GROUP ON" : CD の全曲をグループ録音に登録する設定（グループ録音の設定 ➞76）
- "GROUP OFF" : グループに登録しない設定

5. 録音をはじめる

MD rec

❶MD rec キーを押す（録音一時停止状態になります）
❷準備ができていれば再度 MD rec キーを押す（録音がはじまります）
❸ソース(音源) の再生を始める(チューナーの場合は、この手順は不要です）

- CD を録音するとき、❶ のあとに CD ▶/II キーを押すと、CD の再生と同時に録音が始まります。(CDシンクロ録音)
- AUX（外部入力ソース）の録音レベルの調整が必要な場合は、録音一時停止中に行います。 ➞79
- 大音量で録音を行うとMD再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。

録音を一時停止する

- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は "1" 繰り上がります。
MD rec キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する

- "MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- CD を録音しているときは、CDプレイヤーも停止します。また、テープを録音しているときは、カセットデッキも停止します。(シンクロ機能)

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL" ：MDが一杯になっている。 ➡不要な曲を消す。➞55
"PROTECTED" ：誤消去防止つまみが開いている。 ➡閉める。 ➞88
"PLAY ONLY" ：再生専用MDである。➡録音用ディスクを入れる。

録音時のトラック番号について

CD、AUX からの録音のとき、音のない部分が 3 秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に "1" 繰り上げます。(テープからの録音は、トラック番号は繰り上がりません。) また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が繰り上がる場合があります。TUNER 録音中はトラック番号は自動的に 10 分毎に繰り上がります。付いてしまったトラック番号は、あとで編集できます。
もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中に TRACK EDIT キーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

リモコンのみ

録音中に押す

- CDからのデジタル録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が "1" 繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラックは **"曲を消す(ERASE)または全曲消す(ALL ERASE)"** を参照して削除してください。 → 55

MD のステレオ長時間録音と再生について

本機は、MD のステレオ長時間録音に対応しています。(MDLP 対応機器です)
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があります。
また、同じ MD に異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について (LP2、LP4)

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4 モードは LP2 モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲は、MDLP に対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音(STEREO)で録音してください。

録音モードの種類

ステレオ録音(STEREO):
録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

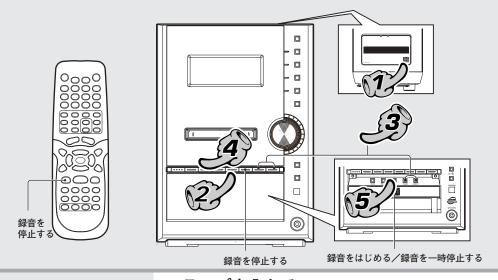
ステレオ 2 倍長時間録音(LP2):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

ステレオ 4 倍長時間録音(LP4):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。

モノラル長時間録音(MONO):
録音される音声はモノラルになります。録音可能時間はMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ(STAMP)機能

本機でステレオ2倍長時間録音(**LP2**)またはステレオ4倍長時間録音(**LP4**)で録音された曲のタイトルの始めの部分に "**LP:**" を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に "**LP:**" が表示されます。
"**LP:**" は、MDLP に対応していない機器でステレオ2倍長時間録音(**LP2**)またはステレオ4倍長時間録音(**LP4**)された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、スタンプ(STAMP)機能のオン("**LP:**" をつける)またはオフ("**LP:**" をつけない)の設定をすることができます。

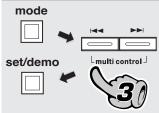
LP2、LP4モードで録音したMDをLP2、LP4モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。ステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在している MD を再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

異なる録音モードで録音した曲は MD の編集機能で制限があります。"**曲をつなぐ(COMBINE)**" → 57

テープに録音する

本機は、ノーマル（TYPE I）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE II）とメタル（TYPE IV）テープでの録音はできません。

1. テープを入れる

❶ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをあける
❷ テープを入れる
❸ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをしめる

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

- テープがたるんでいる場合は、たるみをとってからカセットデッキに入れてください。 →87

2. テープの進む向きを選ぶ

❶ TAPE ◄► キーを押す
❷ 停止する

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。

"走行方向について" →28

- あらかじめ、テープに録音を始める位置をさがしておきます。

3. 録音条件を決める

リバースモードを選ぶ →29

- 録音時は、テープの走行方向をよくご確認ください。テープの走行方向がリバース（◄）のときは、リバースモードでの設定に関わらず片面のみの録音となります。

"TAPE"以外を選ぶ

例：CDを選ぶ時

4. 何を録音するか選ぶ

CD
MD
TUNER（ラジオ）
AUX（外部入力）：[インプットレベルを調整する → 79]

- すでに CD や MD が入っているときは、再生が始まりますので [tuning mode] ■ (STOP)キーを押して止めます。

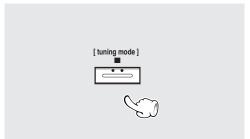
表示部に録音する入力ソースが表示されます

TAPE rec

5. 録音をはじめる

❶ **TAPE rec キーを押す**（"●" 表示が点灯します）
❷ **ソース（音源）の再生を始める**

- 録音する面（片面または両面）が終了すると、自動的に停止します。
- デジタルサウンドイコライザー（19〜21ページ）で設定された音は、録音に反映されません。

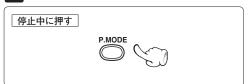
録音を一時停止する

TAPE rec

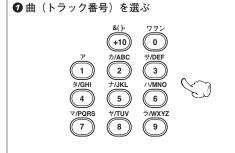
- 録音中に再度、TAPE rec キーを押すと、4 秒間の無録音部分を作り（"●" 表示が点滅します）、一時停止します。（"II" 表示が点灯します）もう一度押すと録音を再開します

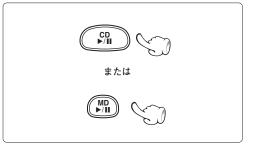
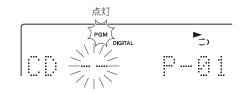
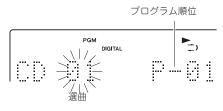
録音を停止する

CD から録音するときのポイント

CD を録音するときは、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、CD の再生とテープの録音を同時に始めることができます。

❶ 再生する CD を一時停止にする
❷ 録音したい曲を multi control |◀◀ または ▶▶| キーで選ぶ（選んだ曲の初めで一時停止になります）
❸ カセットデッキを録音ポーズ状態にする
（TAPE rec キーを 2 回押します）
❹ CD の再生を始める
（録音がスタートします）
- [tuning mode] ■ (STOP)キーを押すと、録音を中止します。
- MD からも同様の手順で録音できます。

曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。（最大32曲）

入力切換を "CD" または "MD" にする。

1 "PGM" モードを選ぶ

停止中に押す

2 聴きたい順に曲を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

数字キーを押す順序は

12曲目なら	+10、2
40曲目なら	+10×4、0
102曲目なら	+10×10、2

（20秒以内に手順 ❷ を行う）

❷ 確定する

（2曲以上選ぶときは手順 ❶、❷ を繰り返す）

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 32曲までプログラムできます。"PGM FULL" と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときは、DELETE / CLEAR キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- CDのプログラム時間の合計が1000分以上、またMDのプログラム時間の合計が1000分以上になると、時間表示が "− −：− −" になります。

3 再生する

- プログラムで選んだ順（P-番号順）に再生します。
- 再生中に P. CALL I◀◀ キーを1回押すと、再生中の曲を最初から再生します。
  前の曲へ飛び越すときは、P. CALL I◀◀ キーを2回押します。
- 再生中に P. CALL ▶▶I キーを1回押すと、次の曲へ飛び越して再生します。

曲を追加するには

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は

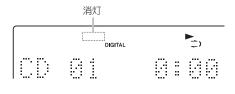
12曲目なら	+10、2
40曲目なら	+10×4、0
102曲目なら	+10×10、2

❷ SET(セット)キーを押す

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 最大32曲までプログラムできます。"PGM(プログラム) FULL(フル)"、"PGM(プログラム) FULL(フル)"と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときは、DELETE(デリート)/CLEAR(クリア)キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

停止中に押す

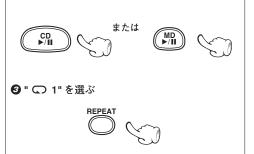
P-07が取り消されたとき

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

消灯

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにしたり、プログラムしたディスクを取り出すと、プログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容はクリアーされます。

繰り返し聴く（リピート再生）

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切り換えを "CD" または "MD" にする。

1 曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM（プログラム）" 表示の消灯を確かめる

❷ 繰り返したい曲を再生する

❸ " ⟲ 1" を選ぶ

REPEAT

● "PGM（プログラム）" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード） キーを押して消灯させてください。

押すたびに切り換わります。

① " ⟲1" (1 曲リピート)
② " ⟲" (全曲リピート)
③ 消灯 .... リピート解除

全曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM（プログラム）" 表示の消灯を確かめる

❷ " ⟲ " を選ぶ

❸ 再生する

● "PGM（プログラム）" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード） キーを押して消灯させてください。

押すたびに切り換わります。

① " ⟲1" (1 曲リピート)
② " ⟲" (全曲リピート)
③ 消灯 .... リピート解除

選んだ曲だけを繰り返し聴くとき

❶ "曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順 ❶と❷までを行い、聴きたい曲をプログラムする →40

❷ "⟲" を選ぶ

❸ 再生する

CD ▶/II または MD ▶/II

押すたびに切り換わります。

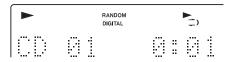
① " ⟲" (全曲リピート)
② 消灯 .... リピート解除

- 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーをリピートモードが解除になるまで押します。

- "REPEAT" 表示が消灯し、CDプレーヤーまたはMDレコーダーのモードに従った再生に戻ります。

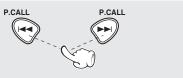
曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切り換えを "CD" または "MD" にする。

❶ "PGM" 表示の消灯を確かめる

P.MODE

- "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE キーを押して消灯させてください。

❷ RANDOM キーを押す

RANDOM

押すたびに切り換わります。

① "RANDOM" 点灯（ランダム再生する）
② "RANDOM" 消灯（通常の再生）

- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEAT キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

- P.CALL ⏮ キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

"RANDOM" 表示を消灯させる

- "RANDOM" 表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

便利な録音あれこれ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください
MD への録音は、すべての録音機能で ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

CD を、MD に短時間で録音したいときは（CD → MD） → 45

全曲 4 倍速録音 CD の全曲を、通常録音の 4 分の 1 の時間で MD に録音することができます。

一曲 4 倍速録音 そのときに聴いているCDの1曲だけを、通常録音の 4 分の 1 の時間で MD に録音することができます。
（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

CD の録音を簡単にしたいときは [ワンタッチエディット（CD → MD／CD → TAPE）] → 47

- MD からテープへの " **ワンタッチエディット録音** " はできません。

全曲録音 CD の全曲を、MD またはテープのいずれかに録音できます。

一曲録音 その時に聴いている CD の 1 曲だけを、MD またはテープのいずれかに録音できます。
（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

CD を、MD とテープに同時録音がしたい時は（TWIN REC） → 48

全曲同時録音 CD の全曲を、MD とテープに同時に録音できます。

一曲同時録音 その時に聴いている CD の 1 曲だけを、MD とテープに同時に録音できます。
（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

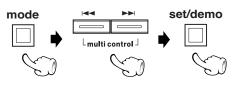
曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは（CD → MD／CD → TAPE／TWIN REC／MD → TAPE） → 50 → 52

プログラム録音 プログラムした曲順で録音します。（CD または、MD の曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。）
プログラムした曲順で、MD とテープに同時録音することもできます。CD にプログラムした曲は、4 倍速録音で MD にも録音できます。

テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープの分だけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

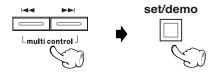
4 倍速録音（CD → MD）

CD の全曲を、MD に 4 倍速録音できます。（4 倍速全曲録音）
CD を聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（4 倍速一曲録音）

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力切換を "CD" にする
❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる
❸ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
❹ CD プレーヤーにディスクを入れる

● "RANDOM" 表示が点灯しているときは、RANDOM キーを押すとランダム再生モードを解除します。

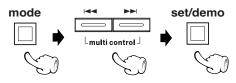
2 録音モードを選ぶ

"MD に録音する " の手順 *4.* を行う → 35

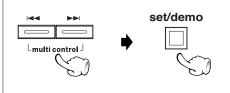
3 録音スピードを選ぶ

❶ mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "O.T.E. SPEED ?" を選び set/demo キーを押す。

押すたびに切り換わります。
① **"CD → MD NORMAL"：** MD で通常速度で録音するときに選びます
② **"CD → MD HIGH"：** MD で4倍速録音するときに選びます

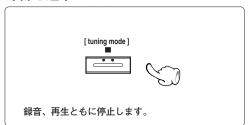
❷ "CD → MD HIGH" を選び set/demo キーを押す。

● "CD → MD HIGH" を選ぶと、"HIGH" 表示が点灯します。

● リモコンの MD REC SPEED キーを押すと ❶、❷ の操作が一度に行えます。

4 CD の再生状態を確認する

全曲録音するとき	*1 曲録音するとき*
再生中のときは停止させる [tuning mode] ■	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順 5 を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 （他の曲を録音するときは、手順 4 と 5 を繰り返します）

次ページに続く

5 録音を始める

❶ mode キーを押してメニューモードにし、multi control |◀◀ または ▶▶| キーを押して、"O.T.E. MODE ?" を選び set/demo キーを押す。

❷ "CD → MD ?" を選び set/demo キーを押す。

リモコンで操作するときは、MD O.T.E. キーを押す。

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。（異常なディスクは使用しない →86）この場合は、通常の速度で録音しなおしてください。

- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 4倍速録音中は、音は出ません。
- 4倍速録音では、EQ.REC →35 はできません。自動的にEQ.RECは解除され、DIGITAL RECに切り替わります。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると.....

MD レコーダー ： 停止し、"MD WRITING" が表示されます。

- いったん4倍速録音をはじめてしまうと、録音をはじめてから74分以内に同じCDまたはトラックを4倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74分以内に同じCDまたはトラックを録音する場合は録音スピードを "CD → MD NORMAL" に設定し、"ワンタッチエディット録音" を行います。→47
- 74分以内に201曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

ワンタッチエディット録音（CD → MD ／ CD → TAPE）

CD の全曲を、ワンタッチで録音できます。（全曲録音）
CD を聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（一曲録音）

> 本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

MD レコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

CD → MD のとき	CD → TAPE のとき
❶ 入力切換を "CD" にする ❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる ❸ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる ❹ CD プレーヤーにディスクを入れる ❺ "HIGH" 表示の消灯を確かめる →45	❶ " テープに録音する " の手順 1 ～ 3 までを行う →38 ❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる ❸ CD プレーヤーにディスクを入れる 手順 3 へ

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、RANDOM キーを押すとランダム再生モードを解除します。
- "HIGH" 表示が点灯している場合、MD は 4 倍速録音になります。

2 録音モードを選ぶ

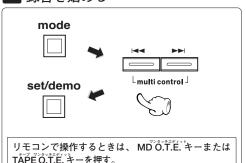
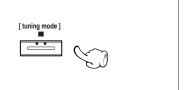
"MD に録音する " の手順 *4.* を行う →35

3 CD の再生状態を確認する

全曲録音	1 曲録音
再生中のときは停止させる [tuning mode] ■	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順 4 を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 （他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します）

4 録音を始める

リモコンで操作するときは、MD O.T.E. キーまたは TAPE O.T.E. キーを押す。

❶ mode キーを押してメニューモードにし multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "O.T.E. MODE " を選び set/demo キーを押す。

❷ multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "CD→MD ?" または "CD→TAPE ?" を選び set/demo キーを押す。

- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

次ページに続く

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると .....

MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING" が表示されます。
カセットデッキ　：約 4 秒の無録音部分を作ってから停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

MD とテープに同時録音（TWIN REC）

CD の全曲を、MD とテープに同時に録音できます。（全曲同時録音）
今聴いている曲だけを、曲の最初から MD とテープに同時に録音できます。（一曲同時録音）

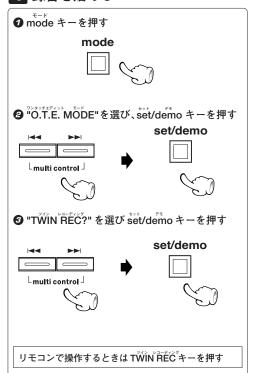
本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

MD レコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力切換を "CD" にする
❷ "PGM" や "RANDOM" 表示の消灯を確かめる
❸ MD　：MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
TAPE ："テープに録音する" の手順 1 〜 3 までを行う → 38
❹ CD プレーヤーにディスクを入れる

MD とテープへ同時録音する場合、4 倍速録音はできません

- "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE キーを押すとプログラムモードを解除します。
- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、RANDOM キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

"MD に録音する" の手順 *4.* を行う → 35

3 CD の再生状態を確認する

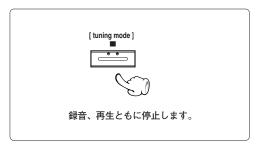
全曲同時録音	1 曲同時録音
再生中のときは停止させる [tuning mode]	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順 4 を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 （他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します）

4 録音を始める

❶ mode キーを押す

❷ "O.T.E. MODE"を選び、set/demo キーを押す

❸ "TWIN REC?" を選び set/demo キーを押す

リモコンで操作するときは TWIN REC キーを押す

押すたびに切り換わります。

① "CD → MD ?"
② "CD → TAPE ?"
③ "TWIN REC ?"：CDをMDとテープに同時録音するときに選びます

- 再生側のCDが停止すると録音側のMDとテープも停止します。
- 録音側のMDまたはテープが止まるとTWIN RECは停止になります。
- 大音量で録音を行うとMD再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると .....

MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING" が表示されます。
カセットデッキ　：約 4 秒の無録音部分を作ってから停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

プログラム録音（CD→MD／CD→TAPE／TWIN REC）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを MD またはテープに録音することができます。

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

MD レコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

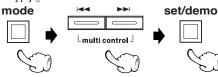
1 録音の準備をする

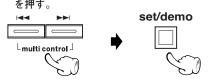
❶ 入力切換を "CD" にする
❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる
❸ MD　：MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
　TAPE：" テープに録音する " の手順 1 ～ 3 までを行う →38
❹ CD プレーヤーにディスクを入れる

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、RANDOM キーを押すとランダム再生モードを解除します

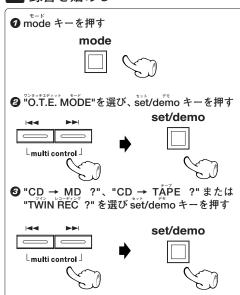
CD からテープにだけ録音する場合は手順 3 へ

2 録音モードを選ぶ

"MD に録音する " の手順 4 を行う →35

3 CD の曲順をプログラムする

CD の " 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)" の手順 1 ～ 2 を行う →40

- プログラムした内容を取り消すには、P.MODE キーを押します。 →41
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。
- 4倍速録音中は、曲番号によっては繰り返しプログラムして録音できないことがあります。
  同じ曲番号がプログラムされたときは、"SAME TNO" が表示されます。

4 録音スピードを選ぶ（CD→MD のみ）

❶ mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "O.T.E. SPEED ?" を選び set/demo キーを押す。

❷ "CD → MD HIGH" を選び set/demo キーを押す。

押すたびに切り換わります。

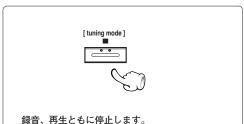
① **"CD → MD NORMAL":** MD で通常速度で録音するときに選びます
② **"CD → MD HIGH":** MD で 4 倍速録音するときに選びます

- "CD → MD HIGH" を選ぶと、"HIGH" 表示が点灯します。

5 録音を始める

❶ mode キーを押す

❷ "O.T.E. MODE"を選び、set/demo キーを押す

❸ "CD → MD ?"、"CD → TAPE ?" または "TWIN REC ?" を選び set/demo キーを押す

リモコンで操作するときは、MD O.T.E. または TAPE O.T.E. キーまたは TWIN REC キーを押すだけで録音がはじまります。

押すたびに切り換わります。

① **"CD → MD ?"**：CDをMDに録音するときに選びます

② **"CD → TAPE ?"**：CD をテープに録音するときに選びます

③ **"TWIN REC ?"**：CD を MD とテープに同時録音するときに選びます

- プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
- CD プログラム再生が終わると自動的に録音が停止します。
- 4 倍速録音中は、音は出ません。
- 大音量で録音を行うとMD再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。

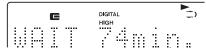
録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると.....

MD レコーダー	： 停止し、"MD WRITING" が表示されます。
カセットデッキ	： 約 4 秒の無録音部分を作ってから停止します。

- いったん4倍速録音をはじめてしまうと、録音をはじめてから 74 分以内に同じ CD またはトラックを 4 倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74 分以内に同じ CD またはトラックを録音する場合は録音スピードを "**CD → MD NORMAL**" に設定し、"**ワンタッチエディット録音**"を行います。→47
- 74 分以内に 201 曲以上を続けて 4 倍速録音することはできません。

プログラム録音（MD → TAPE）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

MD レコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力切換を "MD" にする
❷ MD　：MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
　TAPE ："テープに録音する" の手順 1 〜 3 までを行う →38

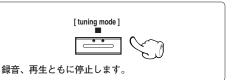
2 MD の曲順をプログラムする

MDの"曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順 1 〜 2 を行う →40

- プログラムした内容を取り消すには、**P.MODE** キーを押します。 →41
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

3 プログラム再生を始める前に MD を一時停止にする

- プログラム再生が始まったときは、**multi control** ⏮ キーを 1 回押して曲の先頭に戻してください。

4 テープを録音一時停止状態にする

5 録音を開始する

- MDのプログラム再生と同時にテープの録音が始まります。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

カセットデッキ ： 約 4 秒の無録音部分を作ってから停止します。

MD の編集機能

市販の録音用 MD を使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。

- 再生専用の一般市販ソフトの MD は編集できません。
- 編集をするときは、MD の誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。 → 88

MD 規格上の機能制限について

MD のいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD 規格上の症状 " をご確認ください。 → 90

曲順の入れ替え

曲を 1 曲ずつ移動する（MOVE） → 54

曲の消去

曲を全曲消す（ALL ERASE） → 55

1 曲消す（ERASE） → 55

曲の分割と結合

曲をつなぐ（COMBINE） → 57

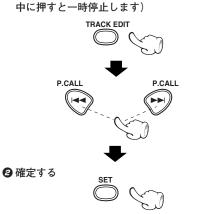
曲を分ける（DIVIDE） → 58

ディスクや曲のタイトルをつける → 60
タイトルを変更、消去する → 63

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にそのMD をセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す → 65

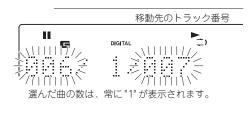
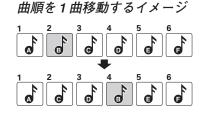
"**MD WRITING**" が表示される前であれば、編集した内容を取り消すことができます。

曲を1曲ずつ移動する（MOVE）

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動（挿入）します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODEキーを押してプログラムモードを解除してください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 "▶MOVE ?"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押し、P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押して"▶MOVE ?"を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ 確定する

押すたびに切り換わります。

① "▶DIVIDE ?"
② "▶COMBINE ?"
③ "▶ERASE ?"
④ "▶MOVE ?"

- 途中でやめるには、手順 3 の前に TRACK EDIT キーを押します。

2 移動先を選ぶ

❶ P.CALL |◀◀または▶▶| キーを押し、曲（トラック番号）を選ぶ

トラック番号が戻る　　トラック番号が進む

P.CALL　P.CALL

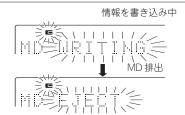
❷ 確定する

SET

移動先のトラック番号

選んだ曲の数は、常に"1"が表示されます。

曲順を1曲移動するイメージ

3 曲の移動を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →92）

4 MD を取り出す

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →65

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を消す（ERASE）または全曲消す（ALL ERASE）

下記の手順で一曲または全曲を消すことができます。消した曲の後の曲番号は自動的に調節されます。

MDの編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を "MD" にする。停止中に操作してください。

1 EDIT TRACK モードを選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを押す

TRACK EDIT

❷ P.CALL ⏮ または ⏭ キー押し、"EDIT TRACK" を選ぶ

P.CALL ⏮　P.CALL ⏭

❸ 確定する

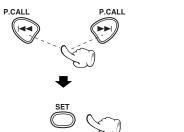
SET

P.CALL ⏮ または ⏭キーを押すたびに切り換わります。

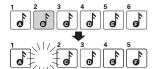
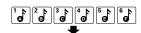
① "EDIT TRACK　"
② "EDIT GROUP　"
③ "▶CANCEL　?"

次ページに続く

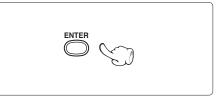
2 "▶ERASE"を選ぶ

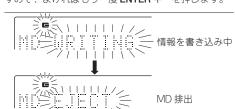
P.CALL⏮ または ⏭ キー押して、"▶ERASE"を選び、SETキーを押す

P.CALL ⏮ または ⏭キーを押すたびに切り換わります。

① "▶MOVE　?"
② "▶ERASE　?"

3 消したい曲を選ぶ

P.CALL ⏮ または ⏭ キー押して、"ALL ERASE"または消したい曲を選び、SETキーを押す

P.CALL⏮ または ⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① "ALL ERASE"：全曲が消えます
② "001"、"002".....：消したい曲を選びます

1曲消すイメージ

全曲消すイメージ

ブランクディスク

4 消去を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →92）

- 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を消すときは"001ERASE OK"（001は3で選んだ曲）と"PROTECTED OK"が交互に表示されますので、よければもう一度ENTERキーを押します。

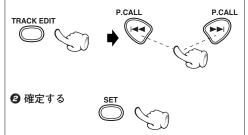
"MD WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

5 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →65

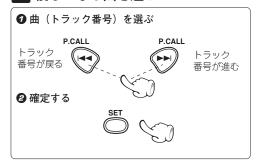
曲をつなぐ（COMBINE）

2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に調節されます。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODEキーを押してプログラムモードを解除してください。

つなげる曲の録音モードが違うと、曲をつなぐことはできません

再生中または一時停止中に操作してください。

1 前になる曲を再生する

● 手順 1 で選んだ曲の後ろに、手順 3 で選んだ曲をつなげることができます。

2 "▶COMBINE ?" を選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを押し、P.CALL ⏮ または ⏭ キーで "▶COMBINE ?" を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ 確定する

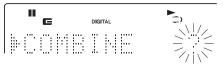
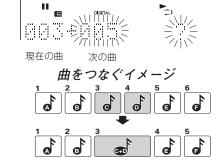
SET

押すたびに切り換わります。

① "▶DIVIDE ?"
② "▶COMBINE ?"
③ "▶ERASE ?"
④ "▶MOVE ?"

● 途中でやめるには、手順 4 の前にTRACK EDIT キーを押します。

3 後ろになる曲を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

前半部のトラック番号とタイトルが残る（後半部のトラック番号とタイトルは消える）

4 曲と曲の結合を実行する

実行後の表示

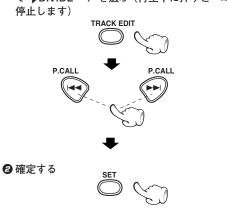
"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）

"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →92）

● 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲をつなぐときは"003+005 OK"と"PROTECTED OK" が交互に表示されますので、よければもう一度ENTER キーを押します。

5 編集後、MD▲キーを押してMDを取り出す

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中に曲番号（トラック番号）を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。
分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。
プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

MD の編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードを解除してください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 分割したい曲を再生する

2 "▶DIVIDE　?" を選ぶ

❶ 曲を聴きながら分割したい位置で、TRACK EDIT キーを押し、P.CALL⏮ または ⏭ キーで "▶DIVIDE　?" を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ 確定する

メモ：プレビューをしないときは、一度 ENTER キーを押して手順 4 の操作を行います。

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。

押すたびに切り換わります。

① "▶DIVIDE　　?"
② "▶COMBINE　?"
③ "▶ERASE　　?"
④ "▶MOVE　　 ?"

- 途中でやめるには、手順 4 の前に TRACK EDIT キーを押します。

3 プレビューをするとき

❶ プレビューの実行

SET

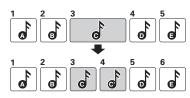
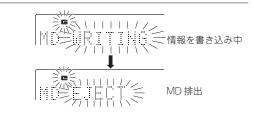
❷ 分割する位置の微調整をし、確定する

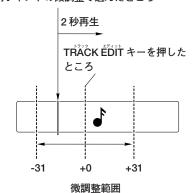
P.CALL　P.CALL　➡　SET

- 分割点から約２秒が繰り返し再生されます。

- 分割点の微調整は、TRACK EDIT キーを押した所を "0" として、60ms（6/100秒）単位で－31～＋31ステップ（約４秒の範囲）で可能です。

4 曲の分割を実行する

手順 1 ～ 4 を繰り返して、最大254までトラック番号を追加できます。

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →92）

- 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を分けるときは、"006 <> 007 OK" と "PROTECTED OK" が交互に表示されますので、よければもう一度ENTERキーを押します。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。

5 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →65

MD⏏

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分けるイメージ

プレビュー再生のイメージ

分割ポイントの微調整で選んだところ

ディスクや曲のタイトルをつける

ディスクや曲の名前（タイトル）をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

MDの編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を "MD" にする。

1 タイトル入力状態にする

❶ TITLE INPUT キーを押す

❷ 編集したいタイトル（ディスクタイトルまたは、トラックタイトル）を選ぶ

❸ 確定する

MD の録音モード（"LP2" または "LP4"）の設定で、スタンプ機能を使用している場合、曲のタイトルの頭の部分に "LP: " が表示されます。 →37

- MD から情報を読み込むため、少し時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE INPUT キーを押します。

TUNING◄◄または►► キーを押すと切り換わります。

① **"DISC" :** ディスクタイトル ***1**
② **"001"、"002"..... :** トラックタイトル ***2**

*1 停止中に手順 1 - ❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
*2 TUNING◄◄または►►キーを押すたびに "001" 、"002" ･･･とトラックタイトルが順番に表示されます。
再生中に手順 1 - ❶を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。

ディスクタイトルのとき ：
"DISC" を選びます。

トラックタイトルのとき ：
目的のトラック No. を選びます。
（数字キーでも選べます。）

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。（英、数、記号の場合）
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（DELETE/CLEAR）をご利用ください。 →63

2 タイトルを入力する

"Aa"、"1 2"、" アァ " のいずれかが表示されていないときは文字入力キーのいずれかを押してください。

❶ CHARAC.(キャラクター)/DISP.(ディスプレイ) キーを繰り返し押して、文字グループを選ぶ

❷ 文字入力キーを押して、文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。
（例： カ/ABC 2 を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。）

❸ SET(セット) キーを押して、文字を確定する

（❶ ～ ❸ を繰り返して、文字を入力します。）

文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ：
Ａ～ｚ、記号

"1 2" グループ：
０～９と記号

" アァ " グループ：
アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・と記号

- TUNING(チューニング)◀◀ または ▶▶ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- 間違えたときは、DELETE(デリート)/CLEAR(クリアー) キーを押して消去します。

カーソルが移動、次の文字入力待ち

タイトル編集文字一覧表

キー ＼ グループ	"Aa"	"1 2"	"アァ"
1ア	(スペース)	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
2カABC	A B C a b c	2	カ キ ク ケ コ
3サDEF	D E F d e f	3	サ シ ス セ ソ
4タGHI	G H I g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マ ミ ム メ モ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
0ワヲン		0	゛ ゜ ワ ヲ ン
+10 &()–	' , : ? ! ; . ” _ ` $ (スペース) & ( ) - / + * = < > # % @		

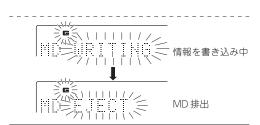
- ゛、゜ はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
- 文字入力キーを１回押したとき、最初に表示されるアルファベットは、そのときの状態によって大文字と小文字が入れ替わります。
- リモコンの SPACE(スペース) キーを押すと、１文字分のスペースが入力されます。

次ページに続く

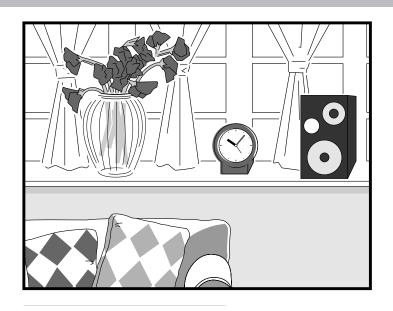
3 タイトル入力を実行する

❶ **ENTER キーを押して、タイトル入力を確定する**

- タイトルを確定する前に、電源をオフ（スタンバイ）にしたり、**TITLE INPUT** キーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。

❷ **TITLE INPUT キーを押して、編集を終了する**

❸ **MD⏏ キーを押して MD を取り出す**

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →65

- **ENTER** キーを押すと、次に編集するタイトル（ディスク名または曲名）を選択することができます。続けてタイトル編集をするときは、手順 1-❷ から繰り返してください。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルを変更、消去する

❶ "ディスクや曲のタイトルをつける" の手順 1 を行い、変更または消去したいディスクタイトルまたは、トラックタイトルを選ぶ

❷ TUNING（チューニング） ◀◀ または ▶▶ キーを押して、カーソルを変更または消去したい文字にあわせる

- 文字を挿入したいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

❸ DELETE/CLEAR（デリート/クリアー） キーを押して文字を消去する（消去のときは手順 ❺ へ）

❹ 変更したいときは、"ディスクや曲のタイトルをつける" の手順 2 を行う

❺ "ディスクや曲のタイトルをつける" の手順 3 を行う

編集した内容を取り消す

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。
編集を取り消すときは、必ずディスクを取り出す前に行ってください。
万一、編集後に MD を取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

> MDの編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "▶CANCEL　? " を選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを押す

❷ P.CALL ⏮ または ⏭ キー押し、
"▶CANCEL　?" を選ぶ

❸ 確定する

押すたびに切り換わります。

① "EDIT TRACK　"
② "EDIT GROUP　"
③ "▶CANCEL　?"

- 編集後に MD を取り出した場合などは、"**XCANCEL ?**" と表示され操作できません。
- 途中でやめるには、手順 **2** の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

2 編集の取り消しを実行する

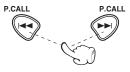
グループ機能

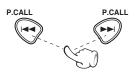
ステレオ長時間録音モード（LP2またはLP4）を使って、複数のCDを1枚のMDに録音できるようになりました。しかし、1枚のMDに収録される曲数が多くなると曲の管理も大変になります。
そこで、MDに収録されいる曲をグループに分けて管理します。各グループごとのタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりと収録曲が多くても簡単に操作することができます。
グループ機能は、MD規格の推奨方法にもとづいています。本機でグループ登録したMDは、他のMDのグループ機能対応機器でも再生・編集ができますが、一部の機種ではグループ名などが正しく表示されなかったり編集できない場合があります。

グループ登録する

先頭曲と最終曲を選んで連続している複数の曲をグループ登録することができます。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODE（モード）キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

例：3曲目から12曲目までをグループ登録するとき

1 "EDIT GROUP"（エディット グループ） モードにする

❶ TRACK EDIT（トラック エディット） キーを押す

❷ P.CALL（コール） |◀◀ または ▶▶| キーを押して、"EDIT GROUP"（エディット グループ） を選ぶ

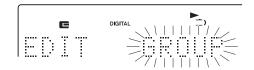
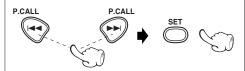
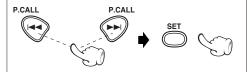
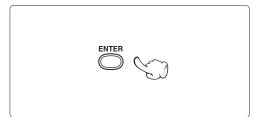
❸ 確定する

P.CALL（コール） |◀◀または▶▶| キーを押すと切り換わります。

① "EDIT TRACK　"（エディット トラック）
② "EDIT GROUP　"（エディット グループ）
③ "▶CANCEL　?"（キャンセル）

2 グループ登録する曲を選ぶ

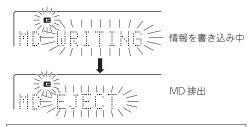
❶ P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押し、"▶GRP START ?" を選ぶ

❷ 確定する

❸ P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの先頭曲（FTNO.）を選び、SET キーを押す

❹ P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの最終曲（LTNO.）を選び、SET キーを押す

3 グループ操作を実行する

P.CALL |◀◀または▶▶| キーを押すと切り換わります。

① "▶GRP START ?"
② "▶GRP CANCEL ?"
③ "▶GRP EDIT ?"

DIGITAL
FTNO. 003

- 1曲だけでもグループ登録ができます。

次ページに続く

4 MD を取り出す

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →65

"MD WRITING"(ライティング) 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"(ライティング) が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、3曲目から12曲目までをグループAにし、12曲目から18曲目までをグループBにした場合、12曲目を二つのグループに登録できません。
- 連続していない曲をグループに登録することはできません。例えば1曲目と3～12曲目を一つのグループに登録できません。曲を移動して連続する曲番号にしてからグループ登録しなおしてください。
- 連続している曲でも、あいだにグループをはさんで登録することはできません。例えば、すでにグループAとして5～10曲目が登録されているときに、グループBとして3～12曲目を指定すると、グループ登録できません。グループAをグループ解除してから、もう一度グループ登録しなおしてください。

グループ範囲を変更する

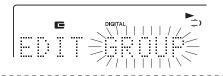
先頭曲と最終曲を再選択してグループ登録されている曲の範囲を変更します。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODE キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ TRACK EDIT キーを押す

❷ P.CALL ⏮ または ⏭ キーを押し、"EDIT GROUP" を選ぶ

❸ 確定する

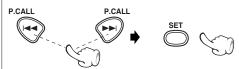
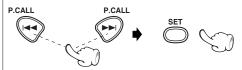
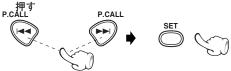
P.CALL ⏮または⏭ キーを押すと切り換わります。

① "EDIT TRACK　"
② "EDIT GROUP　"
③ "▶CANCEL　?"

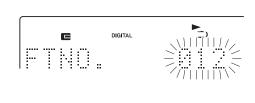
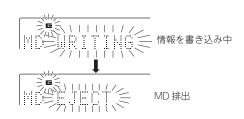
2 "▶GRP EDIT　?" を設定する

❶ P.CALL ⏮ または ⏭ キーを押して、"▶GRP EDIT　?" を選ぶ

❷ 確定する

P.CALL ⏮または⏭ キーを押すと切り換わります。

① "▶GRP START　?"
② "▶GRP CANCEL?"
③ "▶GRP EDIT　?"

次ページに続く

3 新しくグループ登録する曲の範囲を選ぶ

❶P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押して、範囲を変更するグループを選び、SET キーを押す

❷ P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの先頭曲（FTNO.）を選び、SET キーを押す

❸ P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの最終曲（LTNO.）を選び、SET キーを押す

4 変更を実行する

5 MD を取り出す

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →65

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループを解除する

登録したグループを解除ことができます。

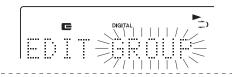
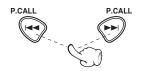
MDの編集を行うときは、停止中にP.MODE キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ TRACK EDIT キーを押す

❷ P.CALL ⏮ または ⏭ キーを押して、"EDIT GROUP" を選ぶ

❸ 確定する

P.CALL ⏮または⏭キーを押すと切り換わります。

① "EDIT TRACK　"
② "EDIT GROUP　"
③ "▶CANCEL　?"

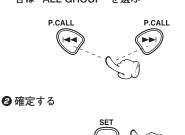
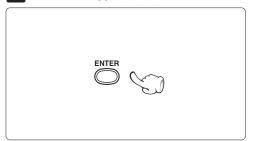
2 "▶GRP CANCEL ?" を設定する

❶ P.CALL ⏮ または ⏭ キーを押して、"▶GRP CANCEL" を選ぶ

❷ 確定する

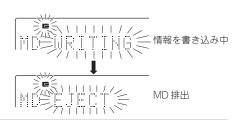
P.CALL⏮または⏭キーを押すと切り換わります。

① "▶GRP START　?"
② "▶GRP CANCEL?"
③ "▶GRP EDIT　?"

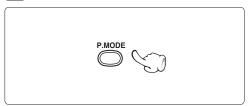
次ページに続く

3 "ALL GROUP" または解除するグループを選ぶ

❶ P.CALL |◀◀ または ▶▶| キーを押して、解除するグループを、全てのグループを解除する場合は "ALL GROUP" を選ぶ

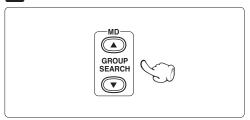
❷ 確定する

SET

4 グループ解除を実行する

5 MD を取り出す

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →65

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

聴きたいグループを選ぶ(グループサーチ機能)

聴きたいグループの先頭の曲に簡単に飛び越します。再生中または停止中にリモコンを使って操作します。

入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 GROUP モードにする

2 聴きたいグループを選ぶ

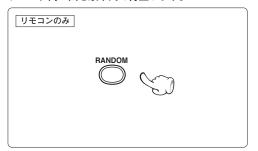
- **GROUP SEARCH ▼** キーは、次のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。
- **GROUP SEARCH ▲** キーは、前のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。

- 選んだグループを再生するには、**MD ►/❚❚** キーを押します。
- グループ再生を止めるには、**AUTO/MONO ■ (STOP)**キーを押します。
- グループサーチ機能を解除するには、**P.MODE** キーを 2 回押します。

選んだグループの曲を繰り返し聴く(REPEAT)

選んだグループ内の全曲または 1 曲を繰り返し再生します。

押すたびに切り換わります。

① **" 1"（1 曲リピート）：** 1 曲だけを繰り返します

② **" "（全曲リピート）：** グループ内の全曲を繰り返します

③ **消灯：**リピート再生をやめる

選んだグループの曲を順不同で聴く(RANDOM)

グループ内の曲を順不同で再生します。

RANDOMキーを押して、"RANDOM"を点灯させる。

RANDOM 点灯

RANDOM GROUP
DIGITAL
MD BACH:Par

ランダム再生を解除するには

AUTO/MONO ■ (STOP)キーを押して、**RANDOM**を消灯させます。

- グループ内の全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- **REPEAT** キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

グループ再生中の時間表示について

リモコンのみ

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "**−−:−−**" と表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

DIGITAL GROUP
001 1:23

② 再生中の曲の残り時間
（"**REMAIN**" 点灯）

DIGITAL GROUP REMAIN
001 2:34

③ 再生中のグループの経過時間
（"**TOTAL**" 点灯）

DIGITAL GROUP TOTAL
001 23:45

④ 再生中のグループの残り時間
（"**TOTAL**" "**REMAIN**" 点灯）

DIGITAL GROUP TOTAL REMAIN
001 36:15

⑤ MD の録音可能残り時間

DIGITAL GROUP
001 R37:45

MD レコーダーのタイトル表示について

P27 の "MD レコーダーのタイトル表示について "を参照下さい

- グループのタイトルが登録されていないときは、"GROUP ＊＊"（＊＊は番号を示します）が表示されます。

グループや曲のタイトルをつける

グループや曲のタイトルをつけると再生中にタイトルが表示されます。

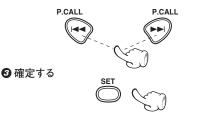
MD の編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 タイトルをつけるグループを選ぶ

❶ GROUP モードにする

❷ グループを選ぶ

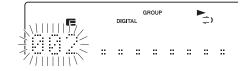
- MD を読みとるまでに多少時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE INPUT キーを押します。

2 タイトル入力にする

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ 編集したいタイトル(グループタイトルまたは、トラックタイトル)を選ぶ

❸ 確定する

SET

P.CALL ⏮または⏭キーを押すと切り換わります。

① **"GROUP" :** グループタイトル
② **"001"、"002"..... :** トラックタイトル

グループタイトルのとき :
"GROUP" を選びます。

トラックタイトルのとき :
目的のトラック No. を選びます。

3 タイトル入力にする

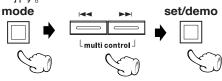
以降の手順はP61の 2以降を参照下さい

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE/CLEAR)をご利用ください。 →63

グループ録音の設定

CD の全曲をひとつのグループ録音に設定することができます。

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

CD → MD のとき

❶ 入力切換を "CD" にする

❷ "PGM" や "RANDOM" 表示の消灯を確かめる

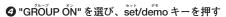
❸ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる

❹ CD プレーヤーにディスクを入れる

- "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押して消灯させてください。
- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。
- "HIGH" 表示が点灯している場合、MD は 4 倍速録音になります。

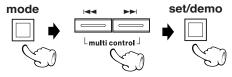
2 録音モードを設定する

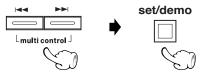
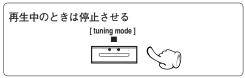
長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

❶ mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "MD REC MODE?" を選び set/demo キーを押す。

押すたびに切り換わります。

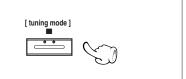
- **"STEREO"（ステレオ録音）:** MDカートリッジに表示されている時間分録音できます
- **"LP2"（ステレオ2倍長時間録音）:** MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分録音できます（"**LP 2**" 点灯）
- **"LP4"（ステレオ4倍長時間録音）:** MDカートリッジに表示されている約4倍の時間分録音できます（"**LP 4**" 点灯）
- **"MONO"（モノラル録音）:** MD カートリッジに表示されている2倍の時間分のモノラル録音ができます（"**MONO**" 点灯）

- **"STEREO"** または **"MONO"** を選んだときは ❸ に進みます。

❷ "LP : STAMP ON" または "LP : STAMP OFF" を選び、set/demo キーを押す

押すたびに切り換わります。

- **"LP : STAMP ON" :** 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る
- **"LP : STAMP OFF" :** 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

❸ mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "GROUP MAKE ?" を選び set/demo キーを押す。

押すたびに切り換わります。

- "GROUP ON" : CD の全ての曲を録音するとき グループに登録
- "GROUP OFF" : グループ録音機能解除

❺ mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "MD REC INPUT" を選び set/demo キーを押す。

❻ 録音するモード "DIGITAL?"、"ANALOG?" または "EQ. REC?" を選び、set/demo キーを押す

押すたびに切り換わります。

- "DIGITAL?" : CD からのデジタル録音入力
- "ANALOG?" : CD からのアナログ録音入力
- "EQ. REC?" : デジタルサウンドイコライザー録音入力 →19 ～ →21 で設定したサウンドで録音できます。デジタル信号のクリップを防ぐため多少音量が小さく録音されます。

3 CD 再生モードを確認する

再生中のときは停止させる

4 録音を始める

- 再生側か、録音側のどちらかが停止すると、自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると .....

MD レコーダー ： 停止し、"MD WRITING" が表示されます。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループ登録したMDの曲を編集すると

グループに登録されている曲を編集すると、次のようになります：

曲を移動する

グループ登録されている曲を移動すると、移動先のグループに登録されます。移動先がグループに所属していないときは、移動した曲はグループに所属しない曲になります。

例：グループＡとして3〜5曲目が登録されていて、グループＢとして9〜12曲目が登録されているとき、グループＡの4曲目を11曲目に移動するとグループＢの曲になります。また、グループＡの4曲目を7曲目に移動するとグループに所属しない曲になります。

曲をつなげる

グループに登録されている曲をつなげると、つなげるときに前にある曲のグループに所属します。

例：グループＡとして3〜5曲目が登録されていて、グループＢとして6〜12曲目が登録されているとき、グループＡの5曲目とグループＢの6曲目をつなげると、つなげられた曲はグループＡに登録されます。また、グループＡの3曲目を2曲目とつなげると、つなげられた曲はグループに属さない曲になります。

曲を分ける

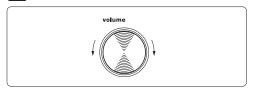
グループに登録されている曲を分けると、分けた曲も分ける前のグループに登録されます。

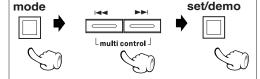
例：グループＡとして3〜5曲目が登録されているとき、5曲目を分けると分けてできた6曲目もグループＡに登録されます。

曲を消す

グループに登録されている曲を消した場合、グループ内の全曲を消すと、そのグループも消去されます。

例：グループＡとして3〜5曲目が登録されていて、グループＢとして6〜12曲目が登録されているとき、グループＡの3〜5曲目を消すとグループＡが消去され、このときグループＢにつけられたタイトルは変わりませんがタイトルが登録されていない場合、表示される番号は自動的（-1）に調整されます。

- グループ機能の情報は、ディスクのタイトル情報として記録されています。グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDのディスクタイトルを表示させると、通常のディスクタイトル以外の情報も表示されますが故障ではありません。
- グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDの編集操作はしないでください。

外部入力ソースを聴く

1 AUX キーを押す

2 接続した機器を再生する

3 音量を調節する

インプットレベルを調整する

AUX 入力端子に接続された外部機器（ビデオデッキ等）からのインプットレベルを調整します。CD、MD 等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整してください。（本体でのみ操作可能）

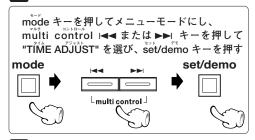
❶ mode キーを押してメニューモードにし、multi control ◀◀ または ▶▶ キーを押して "AUX INPUT ?" を選び、set/demo キーを押す

（"?" マークが点滅中に set/demo キーを押す）

押すたびに切り換わります。

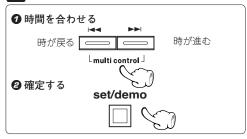
- "TAPE RVS. ?"
- "O.T.E. MODE ?"
- "O.T.E. SPEED ?"
- "MD REC INPUT"
- "MD REC MODE ?"
- "GROUP MAKE ?"
- " ケンメイ セッテイ ?"
  （入力切換がチューナーのときのみ）
- "AUX INPUT ?"
  （入力切換が外部入力のときのみ）
- "TIMER SET ?"
- "A.P.S. SET ?"
- "TIME ADJUST ?"
- "SOUND PRESET"
- "S.A. PATTERN ?"

❷ インプットレベルを選ぶ

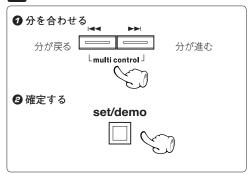
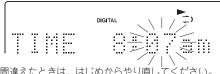
❸ 確定する

インプットレベル

- HIGH、MID、LOW の三段階の調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、AUX 入力端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。

時刻合わせ

タイマーを使うために必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

1 時刻合わせモードにする

- 時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

8時7分に合わせる例

- set/demo キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

3 分を合わせる

8時7分に合わせる例

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- set/demo キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、[tuning mode]■(STOP) キーを押すと8秒間時刻を表示します。

バックライトの明るさを設定する

- 押し続けると次第に暗くなり、やがてバックライトは消灯します。
- さらに押し続けると最大輝度となり、再び次第に暗くなります。
- スリープタイマー→81 動作中は、バックライトは消灯となりますが、B.Light キーを押せば通常時の明るさの設定を変えることができます。

タイマーを使う

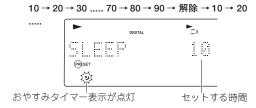
おやすみタイマー（SLEEP）

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音（PROG. 1 , PROG. 2） →82

設定した時間帯に選んだソースを再生したり、ラジオまたは外部入力ソースを録音します。

AI タイマー再生（PROG. 1 , PROG. 2） →82

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP）

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

本システムは、スリープタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなり（オートディマー機能）、バックライトは消灯するように設定されています。

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 一回押すごとに 10 分ずつ増えていきます。最大 90 分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

- スリープタイマーの動作中に、SLEEP キーを押すと、残り時間の確認ができます。
- スリープタイマーの動作中は、バックライトは消灯となります。→80

解除するには

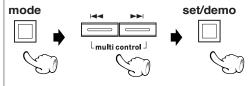
電源をオフ（スタンバイ）にするか、または SLEEP キーを解除になるまで繰り返し押す。

プログラムタイマーを設定する (PROG. TIMER)

PROG. 1 , PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。 →80
" 接続のしかた " を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →10 〜 →12

1 聴く（録音する）ための準備をする

CD を聴く	MD を聴く	テープを聴く
ディスクを入れる （プログラム再生はできません。）	MD を入れる。 （プログラム再生はできません。）	テープを入れる。
ラジオを聴く	**外部入力ソースを聴く**	**録音する**
放送局をプリセットしておく。→30	AUX 端子に接続した機器のタイマー設定をする。	録音の準備をする。 MD →34 TAPE →38

- タイマー予約は、PROG. 1 と PROG. 2 の 2 系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1 と PROG. 2 の働く時間帯が重ならないように、1 分以上の間隔をあけて予約してください。

2 プログラムタイマーの番号を設定する

❶ mode キーを押してメニューモードにし、multi control ⏮ または ⏭ キーを押して "TIMER SET ?" を選び、set/demo キーを押す

（"?" マークが点滅中に set/demo キーを押す）

押すたびに切り換わります。

- "TAPE RVS. ?"
- "O.T.E. MODE ?"
- "O.T.E. SPEED ?"
- "MD REC INPUT"
- "MD REC MODE ?"
- "GROUP MAKE ?"
- " ケンメイ セッテイ ?"
  （入力切換がチューナーのときのみ）
- "AUX INPUT ?"
  （入力切換が外部入力のときのみ）
- "TIMER SET ?"
- "A.P.S. SET ?"
- "TIME ADJUST ?"
- "SOUND PRESET"
- "S.A. PATTERN ?"

❷ "PROG.1 SET?" または "PROG.2 SET?" を選ぶ

押すたびに切り換わります。

① "PROG.1 SET?"
② "PROG.2 SET?"

DIGITAL
PROG. 1 SET?

❸ 確定する

set/demo

- 以前設定したプログラムタイマーの内容を表示します。（設定を変更しない場合は、ディスク、テープの準備、音量の調節をしてから set/demo キーを押してください）
- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

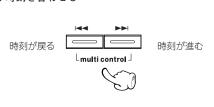
3 プログラムタイマーのON/OFFを選ぶ

❶ "PROG.1 ON?"または"PROG.1 OFF?"を選ぶ

❷ 確定する

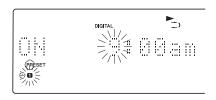
- OFF を選ぶと元の状態に戻ります。

4 ONETIME または EVERYDAY を選ぶ

❶ "ONETIME ?" または "EVERYDAY ?" を選ぶ

❷ 確定する

set/demo

- ONETIME が実行された後タイマーは OFF 状態になります。
- EVERYDAY モードはタイマーが毎日実行されます。

5 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

❶ 時刻を合わせる

❷ 確定する

set/demo

- オン時刻とオフ時刻ともに❶、❷の手順を行い時間を入力した後、同じ手順で分を入力します。
- 間違えたときは、mode キーを押して、手順2からやり直してください。

次ページに続く

6 希望の予約を設定する

タイマー再生、AI タイマー再生をするとき

❶ モードを選ぶ

(1) "PLAY" または "AI PLAY" を選ぶ

① "PLAY"（タイマー再生）
② "REC"
③ "AI PLAY"
（だんだん音が大きくなるタイマー再生）

(2) 確定する

set/demo

❷ 音量を調整する

(1) 調整する

- "PLAY" ここでセットした音量で再生されます。
- "AI PLAY" タイマーの再生が始まると、セットした音量まで徐々に上がります。

(2) 確定する

set/demo

❸ 入力ソースを選ぶ

(1) 何を聴くか選ぶ

① "TUNER"（ラジオ）
② "CD"
③ "TAPE"
④ "MD"
⑤ "AUX"
（外部入力／ビデオなど）

タイマー録音をするとき

❶ モードを選ぶ

(1) "REC" を選ぶ

① "PLAY"
② "REC"
③ "AI PLAY"

(2) 確定する

set/demo

❷ 音量を調整する

(1) 調整する

- ここでセットした音量で再生されます。

(2) 確定する

set/demo

❸ 入力ソースを選ぶ

(1) 何を録音するか選ぶ

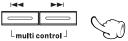
① "TUNER"（ラジオ）
② "AUX"
（外部入力／ビデオなど）

(2) 確定する

set/demo

(2) 確定する

set/demo

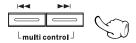
❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 確定する

set/demo

● set/demo キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 確定する

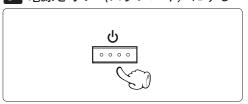
set/demo

❺ 何に録音するか選ぶ

(1) 録音する機器を選ぶ

① "MD REC"
② "TAPE REC"

(2) 確定する

set/demo

● "MD REC" を選んだ場合は、続いて録音モード（35 ページ手順 ❹ から）を設定します。
● set/demo キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

7 電源をオフ（スタンバイ）にする

● スタンバイ状態になると standby/timer 表示灯が緑色に点灯します。
● タイマー設定後、電源がオフ（タイマースタンバイ）中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timer 表示灯が緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

知っておきましょう

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ CD、MD を取り出します

❷ MD ▶/II キーを押す

```
MD NO DISC
```

❸ CD ▶/II キーを押す

```
CD NO DISC
```

❹ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください

❺ 数秒間待って、電源をオフにします

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容

アンプ部： 電源の状態、インプットセレクタ、ボリューム値、サウンドプリセット、AUX インプットレベル値、オートパワー セーブの設定

チューナー部： 受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO/MONO の設定、タイマーの設定内容

カセットデッキ部： テープ走行方向、リバースモード

MDレコーダー部： 録音モード、録音スピード

ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

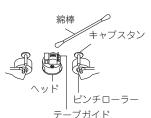
本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-R、CD-RW および CD-G/CD-EG (CD グラフィックス)、CD-EXTRA の音声部分が再生できます。ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなど JIS 規格に合格したものをご使用ください。このマークが入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなく恐れがあります。シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

メンテナンス

ヘッドのお手入れ

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約 10 時間ごとに、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

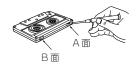
1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

- ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

テープの取り扱いかた

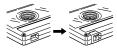
誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。

再び録音するには

ツメを折った所だけにテープを貼る。

テープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。

テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。

- エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

90 分を越えるテープは大変薄く、ピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので、ご使用にならないでください。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

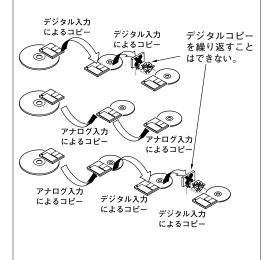
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

MD - Clipデータについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336（代表）
FAX.（03）5353-0337

故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻ (POWER) キーを押しながら、差し込み直す。

マイコンをリセットすると下記のディスプレイが表示されます。

INITIALIZE

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● "接続のしかた" をみて正しく接続し直す。 →10 ● 音量を上げる。 ● MUTEをオフ（解除）にする。 →19 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"standby/timer" の表示が赤く点滅し , 音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続し直す。
"standby/timer" の表示が緑色に点滅する。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →80
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →19 ● 音量を上げる。 →18
スピーカーの片側から音が出ない。	● "接続のしかた" をみて正しく接続し直す。 →10
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →80
タイマーが作動しない。	● "時刻合わせ" をみて現在時刻を合わせる。 →80 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →82

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →11 →12 ● 放送バンドを合わせる。 →30 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →30
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALL キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →31 ● もう一度プリセットする。 →31

MD レコーダー部（MD 規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 255曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。 （トラック番号256未満でも録音できないことがあります。） このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00" になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が 12 秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00" になります。消去された曲の合計時間が 12 秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2
録音済みの時間と、録音可能時間の合計が MD 全体の記録時間（60 分、74 分、80 分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING" が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間 "READING" が表示されます。
モノラル録音された MD のとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが 1792 文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

* 1 録音モードが STEREO モードの場合（LP2/MONO モードの場合：24 秒　LP4 モードの場合：48 秒）
* 2 STEREO（ステレオ録音モード）、LP2（ステレオ 2 倍長時間録音モード）、LP4（ステレオ 4 倍長時間録音モード）、MONO（モノラル録音モード）
* 3 録音モードが STEREO モードの場合（LP2/MONO モードの場合：4 秒 LP4 モードの場合：8 秒）

MD レコーダー部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済 MD または再生用 MD を入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能な MD に取り換える。 →88 ● 入力切換を録音したいソースにする。 →34 ● SCMC によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音ソースをアナログに変更する。 →35
録音レベルが低い。（AUX 使用時）	● AUX入力レベルを調節する。 →79
録音後音がひずむ。（AUX使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。（AUX使用時） AUX入力レベルを調節する。 →79
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。

CD プレーヤー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →86 ● "**結露にご注意**" を参照し、露を蒸発させる。 →86
音声が出ない。	● **CD ▶/II** キーを押す。 ● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →86
音とびがする。	● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →86 ● 振動のない場所に設置する。

カセットデッキ部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● "**ヘッドのお手入れ**" をみてヘッドを清掃する。 →87 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● 録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	● ホルダーを完全に閉める。 →28 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 →28
"PUSH（プッシュ） OPEN（オープン）" 表示部を押しても、ホルダーが開かない。	● 停止状態で押す。
音がかすれたり高音が出なくなる。	● "**ヘッドのお手入れ**" をみてヘッドを清掃する。 →87 ● テープがのびている。
録音後音がひずむ。（AUX使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。（AUX 使用時） AUX インプットレベルを調整する。 →79
雑音が大きい。	● "**ヘッドのお手入れ**" をみて消磁する。 →87 ● 電気器具、テレビなどから離す。
音がふるえる。	● "**ヘッドのお手入れ**" をみてヘッドを清掃する。 →87 ● テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 →28 →29
録音キーを押しても録音できない。	● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 →87 ● ホルダーを完全に閉める。 →28 ● 入力切換を録音したいソースにする。 →39 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 →28

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →17 ● 操作範囲内で操作する。 →17

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていない MD です。
BUFFER OVER	● 74 分以内に 201 曲以上の CD を 4 倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
CAN'T READ	● **CHECK DISC** 中に **CD** キーを押している。
CD NO DISC	● CD が入っていない。
CHECK DISC	● CD で **TOC*** の内容が読み取れない。ファイナライズされていない CD-R を入れている。CD を確認する。→86
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256 曲目を録音しようとしている。録音用の MD を入れ換える。一枚のディスクには 256 曲以上録音できません。
MD NO DISC	● MD が入っていない。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO CASSETTE	● 録音用のテープが入っていない。
NO TITLE	● MD タイトルが書かれていない。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MD タイトルが書かれている。
PGM FULL	● CD または MD のプログラムで 33 曲目を選択しようとしている。 →40
PGM Mode	● プログラムモードのときにランダム再生、タイトル入力(MD)をしようとしている。プログラムモードを解除する。 →41
PLAY ONLY	● 再生専用の MD に録音しようとしている。録音用の MD を入れる。

ディスプレイ表示	意　味
PROTECTED	● MD が"録音禁止"されている。"録音可能"にする。 →88 カセットのツメが折れている。ツメを折った所だけにテープを貼る。 →87
RANDOM Mode	● CD ランダムモードのときに **MD O.T.E.** 録音または **TAPE O.T.E.** 録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。 →43
READING	● **TOC*** 情報を読み込んでいる。
SAME TNO	● 同じ曲を 2 回以上プログラムして 4 倍速録音しようとしている。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。アナログ録音を選んでください。→34 →88
TEXT FULL	● 1K バイト以上のテキスト情報がある **CD TEXT** のテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 MD 全体で 1792 文字、1 曲につき最大 80 文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1 文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1 文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
TRAY OPEN	● CD のドアが開いている。
UTOC ERROR	● **UTOC*** の内容が異常である。**"ALL ERASE"** を行う。→55 それができないときは、MD を取り換える。
WAIT 74min.	● CD から MD に 4 倍速録音をしたのちに同じ曲を 4 倍速録音しようとしている。再録音できるまでの時間が表示される。
×○○○○○	● "○○○○○"の操作はできません。

＊ すべての MD には音声信号以外に **TOC**（**Table of Contents**）という情報が記録されています。**TOC** とは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用 MD に特有な情報を **UTOC** と呼びます。この **UTOC** には、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

定　格

本体部

［アンプ部］

実用最大出力........................ 30W+30W（JEITA 6 Ω）
周波数特性
　AUX .... 40 Hz～20 kHz（0 dB～-3dB）

［チューナー部］

FMチューナー部
　受信周波数範囲 ....76 MHz～90 MHz
　アンテナインピーダンス ....75 Ω
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

［MDレコーダー部］

読み取り方式..........................非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式......................磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式.............................. ATRAC, ATRAC 3
D/Aコンバーター .... 1 Bit
ワウ・フラッター (JEITA) .... 測定限界以下

［CDプレーヤー部］

読み取り方式..........................非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 bit
サンプリング周波数....................... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) .... 20 Hz～20 kHz
ワウ・フラッター (JEITA)
.... 測定限界以下

［カセットデッキ部］

トラック方式..........4トラック2チャンネルステレオ
録音方式...............交流バイアス（周波数：105 kHz）
ヘッド
　録音／再生ヘッド 1
　消去用 1
ワウ・フラッター .... 0.2%（W.R.M.S.）
早巻き時間 .... 約100秒（C-60）

［電源部・その他］

電源電圧・電源周波数 ....AC 100 V, 50 Hz/ 60 Hz
待機時消費電力... 0.4W以下
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 85 W
最大外形寸法 ....幅　180 mm
高さ　255 mm
奥行　324 mm
質量（重量）...5.5 kg(正味)

スピーカー部

エンクロージャー ....バスレフ型
スピーカー構成
　ウーファー ....120 mm コーン型
　ツイーター ....25 mm ドーム型
インピーダンス ....6 Ω
最大入力 .... 30 W
最大外形寸法 .... 幅　152 mm
高さ　255 mm
奥行　213 mm
質量（重量） .... 2.7 kg（1本）

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、96ページの「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　)　　　-

ケンウッドサービス網

2003年3月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	〒007-0834 札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎(011) 743-7740
東北		
仙台サービスセンター	〒984-0042 仙台市若林区大和町5-32-12 (サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124 盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・甲信越		
高崎サービスステーション	〒370-0073 高崎市緑町2-9-1	☎(027) 362-6211
新潟サービスステーション	〒950-0923 新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
松本サービスステーション	〒390-0832 松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
さいたまサービスセンター	〒330-0033 さいたま市本郷町258-1	☎(048) 664-3611
千葉サービスセンター	〒261-7117 千葉市美浜区中瀬2-6 (ワールドビジネスガーデンマリブイースト17F)	☎(043) 297-2311
柏サービスステーション	〒277-0081 柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
池袋サービスカウンター	〒171-0022 豊島区南池袋3-18-43(内山ビル1F)	☎(03) 5958-4810
東京サービスセンター	〒153-0042 目黒区青葉台3-17-9	☎(03) 3477-5411
神奈川サービスセンター	〒228-0012 座間市広野台2-8-21	☎(046) 256-9681
静岡サービスセンター	〒420-0816 静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
中部		
名古屋サービスセンター	〒462-0861 名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
金沢サービスステーション	〒920-0024 金沢市西念3-29-11	☎(076) 265-5045
近畿・四国		
大阪サービスセンター	〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068 高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国		
広島サービスセンター	〒731-0137 広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州		
福岡サービスセンター	〒815-0035 福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0056 鹿児島市下荒田2-20-1	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2227 宜野湾市宇地泊89	☎(098) 898-2255

カスタマーサポートセンター			
カスタマーサポートセンター東京	〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9	☎ (03) 3477-5335	FAX (03) 3477-5334
カスタマーサポートセンター大阪	〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8085	FAX (06) 6394-8308

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- 池袋サービスカウンター　営業時間のご案内　<持込修理取次店>
  日曜日～土曜日（木曜及び当社休日を除く）午前10時から午後7時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターをご利用ください。
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、上記の「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。